

〔原著〕 松本歯学 11 : 245~269, 1985

Key words : 冠 — 架工義歯 — 架工歯 — 統計 — 1983

昭和58年における冠・架工義歯補綴に関する統計的観察

杉本久美子, 長田 淳, 石原善和, 伊藤晴久
岩崎精彦, 三沢京子, 小山 敏, 高橋喜博
岩根健二, 宮崎晴朗, 甘利光治

松本歯科大学 歯科補綴学第2講座 (主任 甘利光治 教授)

Statistical Observation of Crowns and Bridges
in Matsumoto Dental College in 1983

KUMIKO SUGIMOTO, ATSUSHI NAGATA, YOSHIKAZU ISHIHARA, HARUHISA ITOH,
KIYOHICO IWASAKI, KYOHKO MISAWA, SATOSHI KOYAMA,
YOSHIHIRO TAKAHASHI, KENJI IWANE, HARUO MIYAZAKI
and MITSU HARU AMARI.

Department of Prosthodontics II, Matsumoto Dental College
(Chief : Prof. M. Amari)

Summary

A study was made of 1585 crowns and 361 bridges which had been fabricated for 753 patients at the Prosthetic Clinic of Matsumoto Dental College from January through December 1983.

Some of the results were as follows :

- 1) Of patients, 44.09% were males and 55.91% were females.
- 2) 89.11% of the patients were between 20 and 59 years old.
- 3) Crowns for the upper abutment teeth were more abundant than for the lower abutment teeth.
- 4) Of crowns, 65.80% were fabricated full cast crowns ; and
- 5) 86.94% were fabricated for non-vital teeth.
- 6) Of bridges, 77.01% were fabricated as 3-unit bridges ; and
- 7) 83.93% were fabricated as 1-pontic bridges.
- 8) Bridge retainers for the lower anterior segment numbered less than for the other segments.

- 9) Of bridge retainers, 67.25% were fabricated as full cast crowns; and
- 10) 49.37% were fabricated for vital teeth.
- 11) Of pontics, 47.75% were replaced for the lower molar segment.
- 12) In the comparison with similar observations in 1974, 1977 and 1980, the number of patients, crowns, and bridges sharply increased.

結 言

各種補綴物の製作頻度は各時代における補綴学・隣接医学の進歩発展と、それに伴う材料・技術的進歩および社会環境などを反映していることがこれまでの各種統計調査をみれば、よく理解できる。そこで私たちは昭和49年¹⁾、同52年⁴⁾、同55年²⁾の調査報告に引き続き、昭和58年1月から同年12月までに松本歯科大学病院において製作、装着された補綴物、とくに冠・架工義歯補綴物について検討を加えたので報告する。

調査資料と項目

松本歯科大学病院補綴診療科で昭和58年1月より同年12月に至る1か年間に製作した単独冠1585個、架工義歯361装置を装着した外来患者合計753人について院内カルテ、補綴科診療録、材料精算伝票を資料として以下に記す項目について調査した。

A. 患者総数と地域別患者数

地域別患者数は、大学病院の所在する塩尻市内と、これを除く長野県内および長野県外在住者に区分して調査した。

B. 性別および年代別患者数

患者の男女別人数を調べると同時に、年齢を20歳未満、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代、80歳以上の8とおりの年代に区分し、その患者数および両者の関係を調査した。

C. 単独冠および架工義歯の装着総数

装着物を単独冠および架工義歯に分け、その総数を調べた。

D. 単独冠について

1. 年代別装着数

前記のB項の年齢区分によって調査した。

2. 性別装着数

3. 部位別装着数

装着部位を顎別(上、下)および歯群別(前歯部、小臼歯部、大臼歯部)に分けて調査した。ま

た同時に年代別装着数との関係も調べた。

4. 支台歯の生、失活歯別装着数

支台歯を生活歯と失活歯に区分し、調査するとともに、年代別および部位別装着数との関係を調べた。

5. 種類別装着数

単独冠の種類を全部鋳造冠、前装冠(既製陶歯前装冠、陶材溶着鋳造冠およびレジン前装冠の3種)、ジャケット冠(陶材およびレジンジャケット冠の2種)、アタッチドタイプ合釘継続歯(以下継続歯と略す)、および一部被覆冠に分類して、その装着数を調べると同時に、年代別、性別および部位別装着数との関係を調査した。

6. 支台築造体について

支台築造体をキャストコアー、アマルガムコアー、レジンコアー、セメントコアーに分類し、その数を調査すると同時に、築造部位および単独冠の種類別築造数との関係を調べた。

E. 架工義歯について

1. 年代別装着数

前記B項の年齢区分に準じて調査した。

2. 性別装着数

3. ユニット数別装着数

架工義歯をユニット数別に区分し、その数を調査した。また同時に年代別装着数との関係についても調べた。

4. 架工歯数別装着数

架工義歯を架工歯数別に分類し、その数を調べるとともに年代別装着数との関係について調査した。

F. 架工義歯の支台装置について

前記D項の単独冠の調査事項1～6について、性別装着数と年代別装着数との関係を除くすべての調査を行った。

G. 架工歯の部位別装着数

架工歯を装着した部位を前記D項の3に準じて分類し、その装着数を調査するとともに、年代別装着数との関係を調べた。

調 査 成 績

A. 患者総数と地域別患者数

表1に示すように患者総数は753人で、長野県内（除く塩尻市内）在住者が過半数を占め、塩尻市内在住者より36人、約5%多い結果であった。また長野県外在住者は7人で総数753人のうち約

表1：地域別患者数

地 域	昭和58年	昭和55年	昭和52年	昭和49年
塩 尻 市 内	355 (47.14)	297 (55.31)	183 (57.55)	73 (62.93)
長 野 県 内 (除・塩尻市内)	391 (51.93)	235 (43.76)	132 (41.51)	41 (35.34)
長 野 県 外	7 (0.93)	5 (0.93)	3 (0.94)	2 (1.72)
計	753 (100.00)	537 (100.00)	318 (100.00)	116 (100.00)

() %

1%を占めるのみであった。

B. 性別および年代別患者数

表2に示すように男332人、44.09%、女421人、55.91%と女が約12%多く、年代別には最も多かったのが30歳代で247人、32.80%であった。次いで20歳代、30歳代および50歳代が続き、20歳代から50歳代までに全体の約90%が含まれた。

C. 単独冠および架工義歯の装着総数

昭和58年1か年間に装着した単独冠は計1585個を数えた。また架工義歯の装着数は計361装置であった。

D. 単独冠について

1. 年代別装着数

表3に示すように、最多装着年代は30歳代で、装着数は502個を数え全体の31.67%を占めた。以下40歳代、50歳代、20歳代の順に装着数は減少し、70歳代ではわずかに15個、0.95%を数えるのみであった。また20歳代から50歳代までに装着された

表2：性別および年代別患者数

性	年 代 調 査 年	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
男	昭58	7 (0.93)	68 (9.03)	91 (12.08)	65 (8.65)	59 (7.84)	35 (4.65)	7 (0.93)		332 (44.09)
	昭55	5 (0.93)	57 (10.61)	58 (10.80)	52 (9.68)	44 (8.19)	21 (3.91)	7 (1.30)	1 (0.19)	245 (45.62)
	昭52	4 (1.26)	29 (9.12)	35 (11.01)	40 (12.58)	29 (9.12)	10 (3.14)	3 (0.94)		150 (47.17)
	昭49	3 (2.59)	12 (10.34)	15 (12.93)	18 (15.52)	8 (6.90)	7 (6.03)			63 (54.31)
女	昭58	16 (2.12)	85 (11.29)	156 (20.72)	83 (11.02)	64 (8.50)	15 (1.99)	2 (0.27)		421 (55.91)
	昭55	9 (1.68)	58 (10.80)	91 (16.95)	84 (15.64)	38 (7.08)	10 (1.86)	2 (0.37)		292 (54.38)
	昭52	5 (1.57)	60 (18.87)	53 (16.67)	24 (7.55)	15 (4.72)	7 (2.20)	3 (0.94)	1 (0.31)	168 (52.83)
	昭49	3 (2.59)	20 (17.24)	14 (12.07)	7 (6.03)	9 (7.76)				53 (45.69)
計	昭58	23 (3.05)	153 (20.32)	247 (32.80)	148 (19.65)	123 (16.34)	50 (6.64)	9 (1.20)		753 (100.00)
	昭55	14 (2.61)	115 (21.42)	149 (27.75)	136 (25.33)	82 (15.27)	31 (5.77)	9 (1.68)	1 (0.19)	537 (100.00)
	昭52	9 (2.83)	89 (27.99)	88 (27.67)	64 (20.13)	44 (13.84)	17 (5.35)	6 (1.89)	1 (0.31)	318 (100.00)
	昭49	6 (5.17)	32 (27.59)	29 (25.00)	25 (21.55)	17 (14.66)	7 (6.03)			116 (100.00)

() %

昭58：昭和58年

昭55：昭和55年

昭52：昭和52年

昭49：昭和49年

表3：単独冠の年代別および部位別装着数

年代	部位 調査年	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	8+8 8+8
20歳未満	昭58	16 (1.01)	3 (0.19)	5 (0.32)	24 (1.51)		2 (0.13)	12 (0.76)	14 (0.88)	38 (2.40)
	昭55	19 (1.66)		4 (0.35)	23 (2.01)		1 (0.09)	5 (0.43)	6 (0.52)	29 (2.53)
	昭52	5 (0.97)	1 (0.19)	2 (0.39)	8 (1.56)		1 (0.19)	3 (0.58)	4 (0.78)	12 (2.33)
	昭49	9 (3.86)			9 (3.86)		1 (0.43)		1 (0.43)	10 (4.29)
20歳代	昭58	78 (4.92)	39 (2.46)	71 (4.48)	188 (11.86)	8 (0.50)	25 (1.58)	77 (4.86)	110 (6.94)	298 (18.80)
	昭55	62 (5.41)	31 (2.71)	25 (2.18)	118 (10.30)	9 (0.79)	25 (2.18)	43 (3.74)	77 (6.72)	195 (17.02)
	昭52	34 (6.61)	26 (5.06)	16 (3.11)	76 (14.79)	12 (2.33)	25 (4.86)	32 (6.23)	69 (13.42)	145 (28.21)
	昭49	24 (10.30)	6 (2.58)	7 (3.00)	37 (15.88)		8 (3.43)	7 (3.00)	15 (6.44)	52 (22.32)
30歳代	昭58	105 (6.62)	73 (4.61)	111 (7.00)	289 (18.23)	13 (0.82)	81 (5.11)	119 (7.51)	213 (13.44)	502 (31.67)
	昭55	72 (6.28)	51 (4.45)	50 (4.36)	173 (15.10)	7 (0.61)	58 (5.06)	66 (5.75)	131 (11.43)	304 (26.53)
	昭52	31 (6.03)	23 (4.47)	19 (3.70)	73 (14.20)	4 (0.78)	28 (5.45)	28 (5.45)	60 (11.67)	133 (25.88)
	昭49	12 (5.15)	11 (4.72)	3 (1.29)	26 (11.16)	2 (0.86)	9 (3.86)	11 (4.72)	22 (9.44)	48 (20.60)
40歳代	昭58	58 (3.66)	57 (3.60)	62 (3.91)	177 (11.17)	19 (1.20)	62 (3.91)	45 (2.84)	126 (7.95)	303 (19.12)
	昭55	58 (5.06)	65 (5.67)	54 (4.71)	117 (15.45)	53 (4.62)	70 (6.11)	58 (5.06)	181 (15.79)	358 (31.24)
	昭52	16 (3.11)	22 (4.28)	18 (3.50)	56 (10.89)	2 (0.39)	24 (4.67)	16 (3.11)	42 (8.17)	98 (19.07)
	昭49	23 (9.87)	7 (3.00)	10 (4.29)	40 (17.17)	1 (0.43)	10 (4.29)	5 (2.15)	16 (6.87)	56 (24.03)
50歳代	昭58	58 (3.66)	61 (3.85)	43 (2.71)	162 (10.22)	29 (1.83)	73 (4.61)	40 (2.52)	142 (9.96)	304 (19.18)
	昭55	34 (2.97)	45 (3.93)	22 (1.92)	101 (8.81)	17 (1.48)	34 (2.97)	31 (2.71)	82 (7.16)	183 (15.97)
	昭52	7 (1.36)	70 (3.89)	10 (1.95)	37 (7.20)	8 (1.56)	32 (6.23)	8 (1.56)	48 (9.34)	85 (16.54)
	昭49	10 (4.29)	7 (3.00)	5 (2.15)	22 (9.44)	6 (2.58)	12 (5.15)	7 (3.00)	25 (10.73)	47 (20.17)
60歳代	昭58	24 (1.51)	19 (1.20)	21 (1.32)	64 (4.04)	18 (1.14)	26 (1.64)	17 (1.07)	61 (3.85)	125 (7.89)
	昭55	16 (1.40)	12 (1.05)	6 (0.52)	34 (2.47)	5 (0.43)	6 (0.52)	9 (0.79)	20 (1.74)	54 (4.71)
	昭52	7 (1.36)	8 (1.56)	4 (0.78)	19 (3.70)	4 (0.78)	6 (1.17)	1 (0.19)	11 (2.14)	30 (5.84)
	昭49	7 (3.00)	3 (1.29)	1 (0.43)	11 (4.72)	4 (1.72)	3 (1.29)	1 (0.43)	8 (3.43)	19 (18.15)
70歳代	昭58	5 (0.32)	2 (0.13)	3 (0.19)	10 (0.63)	1 (0.06)	1 (0.06)	3 (0.19)	5 (0.32)	15 (0.95)
	昭55	5 (0.44)	5 (0.44)	6 (0.52)	16 (1.40)	1 (0.09)	3 (0.26)	1 (0.09)	5 (0.44)	21 (1.83)
	昭52	3 (0.58)			3 (0.58)	1 (0.19)	4 (0.78)	2 (0.39)	7 (1.36)	10 (1.95)
	昭49						1 (0.43)		1 (0.43)	1 (0.43)
80歳以上	昭58									
	昭55						1 (0.09)	1 (0.09)	2 (0.17)	2 (0.17)
	昭52									
	昭49									
計	昭58	344 (21.70)	254 (16.03)	316 (19.94)	914 (57.67)	88 (5.55)	270 (17.03)	313 (19.75)	671 (42.33)	1585 (100.00)
	昭55	266 (23.21)	209 (18.24)	167 (14.57)	642 (56.02)	92 (8.03)	198 (17.28)	214 (18.67)	504 (43.98)	1146 (100.00)
	昭52	103 (20.04)	100 (19.46)	69 (13.42)	272 (52.92)	31 (6.03)	121 (23.54)	90 (17.51)	242 (47.08)	514 (100.00)
	昭49	85 (36.48)	34 (14.89)	26 (11.16)	145 (62.23)	13 (5.58)	44 (18.88)	31 (13.30)	87 (37.77)	233 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表4：単独冠支台歯の生・失活歯別および年代別装着数

支台歯 の状態	年 代 調 査 年	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
生活歯	昭58	8 (0.50)	50 (3.15)	57 (3.60)	26 (1.64)	38 (2.40)	25 (1.58)	3 (0.19)		207 (13.06)
	昭55	2 (0.17)	32 (2.79)	43 (3.75)	57 (4.97)	33 (2.88)	6 (0.52)	6		179 (15.62)
	昭52		20 (3.89)	18 (3.50)	25 (4.86)	20 (3.89)	7 (1.36)			90 (17.51)
	昭49		15 (6.44)	11 (4.72)	18 (7.73)	9 (3.86)	4 (1.72)			57 (24.46)
失活歯	昭58	30 (1.89)	248 (15.65)	445 (28.08)	277 (17.48)	266 (16.78)	100 (6.31)	12 (0.76)		1378 (86.94)
	昭55	27 (2.36)	163 (14.22)	261 (22.77)	301 (26.27)	150 (13.09)	48 (4.19)	15 (1.31)	2 (0.17)	967 (84.38)
	昭52	12 (2.33)	125 (24.32)	115 (22.37)	73 (14.20)	65 (12.65)	23 (4.47)	10 (1.95)	1 (0.19)	424 (82.49)
	昭49	10 (4.29)	37 (15.88)	37 (15.88)	38 (16.31)	15 (6.44)	1 (0.43)			176 (75.54)
計	昭58	38 (2.40)	298 (18.80)	502 (31.67)	303 (19.12)	304 (19.18)	125 (7.89)	15 (0.95)		1585 (100.00)
	昭55	29 (2.53)	195 (17.02)	304 (26.53)	358 (31.24)	183 (15.97)	54 (4.71)	21 (1.83)	2 (0.17)	1146 (100.00)
	昭52	12 (2.33)	145 (28.21)	133 (25.88)	98 (19.07)	85 (16.54)	30 (5.84)	10 (1.95)	1 (0.19)	514 (100.00)
	昭49	10 (4.29)	52 (22.32)	48 (20.60)	56 (24.03)	47 (20.17)	19 (8.15)	1 (0.43)		233 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表5：単独冠支台歯の生・失活歯別および部位別装着数

支台歯 の状態	年 代 調 査 年	3+3	5+4/5	8-6 6-8	8+8	3+3	5+4/5	8-6 6-8	8+8	8+8 8+8
生活歯	昭58	25 (1.58)	29 (1.83)	45 (2.84)	99 (6.25)	16 (1.01)	51 (3.22)	41 (2.59)	108 (6.81)	207 (13.06)
	昭55	32 (2.79)	35 (3.05)	29 (2.53)	96 (8.38)	6 (0.52)	44 (3.84)	33 (2.88)	83 (7.24)	179 (15.62)
	昭52	10 (1.95)	12 (2.33)	13 (2.53)	35 (6.81)	5 (0.97)	32 (6.23)	18 (3.50)	55 (10.70)	90 (17.51)
	昭49	22 (9.44)	2 (0.86)	12 (5.15)	36 (15.45)	3 (1.29)	12 (5.15)	6 (2.58)	21 (9.01)	57 (24.46)
失活歯	昭58	319 (20.13)	225 (14.20)	271 (17.10)	815 (51.42)	72 (4.54)	219 (13.82)	272 (17.16)	563 (35.52)	1378 (86.94)
	昭55	234 (20.42)	174 (15.18)	138 (12.04)	546 (47.64)	86 (7.50)	154 (13.44)	181 (15.79)	421 (36.74)	967 (84.38)
	昭52	93 (18.09)	88 (17.12)	56 (10.89)	237 (46.11)	26 (5.06)	89 (17.32)	72 (14.01)	187 (36.38)	424 (82.49)
	昭49	63 (27.04)	32 (13.73)	14 (6.01)	109 (46.78)	10 (4.29)	32 (13.73)	25 (10.73)	67 (28.76)	176 (75.54)
計	昭58	344 (21.70)	254 (16.03)	316 (19.94)	914 (57.67)	88 (5.55)	270 (17.03)	313 (19.75)	671 (42.33)	1585 (100.00)
	昭55	266 (23.21)	209 (18.24)	167 (14.57)	642 (56.02)	92 (8.03)	198 (17.28)	214 (18.67)	504 (43.98)	1146 (100.00)
	昭52	103 (20.04)	100 (19.46)	69 (13.42)	272 (52.92)	31 (6.03)	121 (23.54)	90 (17.51)	242 (47.08)	514 (100.00)
	昭49	85 (36.48)	34 (14.59)	26 (11.16)	145 (62.23)	13 (5.58)	44 (18.88)	31 (13.30)	88 (37.77)	233 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表6：単独冠の種類別および年代別装着数

種類	年代 調査年	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
全部 鑄造冠	昭56	20 (1.26)	171 (10.79)	356 (22.46)	199 (12.56)	207 (13.06)	81 (5.11)	9 (0.57)		1043 (65.80)
	昭55	7 (0.61)	100 (8.73)	215 (18.76)	229 (19.98)	123 (10.73)	33 (2.88)	15 (1.31)	2 (0.17)	724 (63.18)
	昭52	7 (1.36)	96 (18.68)	98 (19.07)	75 (14.59)	67 (13.04)	17 (13.31)	6 (1.17)	1 (0.19)	367 (71.40)
	昭49	1 (0.43)	25 (10.73)	24 (14.59)	32 (13.73)	31 (13.30)	6 (2.58)			129 (55.36)
	昭58	9 (0.57)	94 (5.93)	100 (6.31)	60 (3.79)	36 (2.27)	16 (1.01)			315 (19.87)
前 装 冠	昭55	13 (1.13)	73 (6.37)	37 (3.23)	39 (3.40)	27 (2.36)				189 (16.49)
	昭52		24 (4.67)	13 (2.53)	10 (1.95)	6 (1.17)	7 (1.36)			60 (11.67)
	昭49	9 (3.86)	20 (8.58)	6 (2.58)	3 (1.29)	2 (0.86)	5 (2.15)			45 (19.31)
既 製 陶 歯 前 装 冠	昭58									
	昭55									
	昭52									
	昭49		4 (1.72)	3 (1.29)						7 (3.00)
	昭58		1 (0.06)	15 (0.95)	15 (0.95)	11 (0.69)	4 (0.25)			46 (2.90)
レジン前装冠	昭55		1 (0.09)	1 (0.09)	3 (0.26)	4 (0.35)				9 (0.78)
	昭52		5 (0.97)	1 (0.19)	4 (0.78)	3 (0.58)	2 (0.39)			15 (2.92)
	昭49	5 (2.15)								5 (2.15)
	昭58	9 (0.57)	93 (5.87)	85 (5.36)	45 (2.84)	25 (1.58)	12 (0.76)			269 (16.97)
陶 材 溶 着 鑄 造 冠	昭55	13 (1.13)	72 (6.28)	36 (3.14)	36 (3.14)	23 (2.01)				180 (15.71)
	昭52		19 (3.70)	12 (2.33)	6 (1.17)	3 (0.58)	5 (0.97)			45 (8.75)
	昭49	4 (1.72)	16 (6.87)	3 (1.29)	3 (1.29)	2 (0.86)	5 (2.15)			33 (14.16)
	昭58	8 (0.50)	16 (1.01)	29 (1.83)	36 (2.27)	42 (2.65)	18 (1.14)	6 (0.38)		155 (9.78)
	昭55	7 (0.61)	12 (1.05)	40 (3.49)	61 (5.32)	29 (2.53)	20 (1.74)	5 (0.44)		174 (15.18)
ジャケット冠	昭52	5 (0.97)	15 (2.92)	20 (3.89)	8 (1.56)	9 (1.75)	5 (0.97)	1 (0.19)		63 (12.26)
	昭49		3 (1.29)	1 (0.43)	6 (2.58)	2 (0.86)				12 (5.15)
	昭58									
	昭55	7 (0.61)	12 (1.05)	40 (3.49)	61 (5.32)	29 (2.53)	20 (1.74)	5 (0.44)		174 (15.18)
レジン ジャケット冠	昭52	5 (0.97)	15 (2.92)	20 (3.89)	8 (1.56)	9 (1.75)	5 (0.97)	1 (0.19)		63 (12.26)
	昭49		3 (1.29)	1 (0.43)	6 (2.58)	2 (0.86)				11 (4.72)
	昭58									
	昭55									
ポーセレン ジャケット冠	昭52									
	昭49			1 (0.43)						1 (0.43)
	昭58	1 (0.06)	3 (0.13)	1 (0.06)		1 (0.06)				5 (0.32)
	昭55			2 (0.17)	2 (0.17)					4 (0.35)
継 続 歯	昭52		1 (0.19)	2 (0.39)	2 (0.39)	1 (0.19)				6 (1.17)
	昭49		2 (0.86)	7 (3.00)	11 (4.72)	6 (2.58)	5 (2.15)			31 (13.30)
	昭58		15 (0.95)	16 (1.01)	8 (0.50)	18 (1.14)	10 (0.63)			67 (4.23)
	昭55	2 (0.17)	10 (0.87)	10 (0.87)	27 (2.36)	4 (0.35)	1 (0.09)	1 (0.09)		55 (4.80)
	昭52		9 (1.75)		3 (0.58)	2 (0.39)	1 (0.19)	3 (0.58)		18 (3.50)
一 部 被 覆 冠	昭49		2 (0.86)	4 (1.72)	6 (2.58)	3 (1.29)	1 (0.43)			16 (6.87)
	昭58	38 (2.40)	298 (18.80)	502 (31.67)	303 (19.12)	304 (19.18)	125 (7.89)	15 (0.95)		1585 (100.00)
	昭55	29 (2.53)	195 (17.02)	304 (26.53)	358 (31.24)	183 (15.97)	54 (4.71)	21 (1.83)	2 (0.17)	1146 (100.00)
	昭52	12 (2.33)	145 (28.21)	133 (25.88)	98 (19.07)	85 (16.54)	30 (5.84)	10 (1.95)	1 (0.19)	514 (100.00)
計	昭49	10 (4.29)	52 (22.32)	48 (20.60)	56 (24.03)	47 (20.17)	19 (8.15)	1 (0.43)		233 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表7：単独冠の種類別および性別装着数

種類	調査年	性別		計
		男	女	
全部 鑄造冠	昭和58	428 (27.00)	615 (38.80)	1043 (65.80)
	昭和55	300 (26.18)	424 (37.00)	724 (63.18)
	昭和52	167 (32.49)	200 (38.91)	367 (71.40)
	昭和49	73 (31.33)	56 (24.03)	129 (55.36)
前 装 冠	昭和58	100 (6.85)	206 (13.00)	315 (19.87)
	昭和55	60 (5.24)	129 (11.26)	189 (16.50)
	昭和52	20 (3.89)	40 (7.78)	60 (11.67)
	昭和49	24 (10.30)	21 (9.01)	45 (19.31)
既製陶歯 前装冠	昭和58			
	昭和55			
	昭和52			
	昭和49	3 (1.29)	4 (1.72)	7 (3.00)
レジン前装冠	昭和58	17 (1.07)	29 (1.83)	46 (2.90)
	昭和55	4 (0.35)	5 (0.44)	9 (0.78)
	昭和52	4 (0.78)	11 (2.14)	15 (2.92)
	昭和49	5 (2.15)	5 (2.15)	10 (4.30)
陶材溶着 鑄造冠	昭和58	92 (5.80)	177 (11.17)	269 (16.97)
	昭和55	56 (4.89)	124 (10.82)	180 (15.71)
	昭和52	16 (3.11)	29 (5.64)	45 (8.75)
	昭和49	21 (9.01)	12 (5.15)	33 (14.16)
ジャケット冠	昭和58	77 (4.86)	78 (4.92)	155 (9.78)
	昭和55	51 (4.45)	123 (10.73)	174 (15.18)
	昭和52	26 (5.06)	37 (7.20)	63 (12.26)
	昭和49	9 (3.86)	3 (1.29)	12 (5.15)
レジン ジャケット冠	昭和58	77 (4.86)	78 (4.92)	155 (9.78)
	昭和55	51 (4.45)	123 (10.73)	174 (15.18)
	昭和52	26 (5.06)	37 (7.20)	63 (12.26)
	昭和49	8 (3.43)	3 (1.29)	11 (4.72)
ポーセレン ジャケット冠	昭和58			
	昭和55			
	昭和52			
	昭和49	1 (0.43)	4 (0.25)	5 (0.32)
継 続 歯	昭和58	1 (0.06)	4 (0.35)	5 (0.35)
	昭和55	2 (0.39)	4 (0.78)	6 (1.17)
	昭和52	18 (7.73)	13 (5.58)	31 (13.30)
	昭和49	37 (2.34)	30 (1.89)	67 (4.23)
一部被覆冠	昭和58	21 (1.83)	34 (2.96)	55 (4.79)
	昭和55	13 (2.53)	5 (0.97)	18 (3.50)
	昭和52	12 (5.15)	4 (1.72)	16 (6.87)
	昭和49			
計	昭和58	652 (41.14)	933 (58.86)	1585 (100.00)
	昭和55	432 (37.70)	714 (62.30)	1146 (100.00)
	昭和52	228 (44.36)	286 (55.64)	514 (100.00)
	昭和49	136 (58.37)	97 (41.63)	233 (100.00)

() %

昭和58：昭和58年 昭和52：昭和52年
昭和55：昭和55年 昭和49：昭和49年

数は合計で1407個で総数1585個に対して88.77%を占めた。

2. 性別装着数

表7に示すごとく男の装着数は、総数1585個のうちの652個、41.14%で、女のそれは、933個、58.86%となり、男に比べると約1.4倍に達した。

3. 部位別装着数

表3に示すように上顎歯に装着した個数は914個、57.67%で、下顎歯の671個、42.33%よりも約15%多かった。

歯群別にみると上顎では前歯部が344個、21.70%で最も多く、以下大臼歯部316個、19.94%、次いで小臼歯部254個、16.03%の順であった。また下顎では大臼歯部313個、19.75%、次いで小臼歯部270個、17.03%と上顎大臼歯部と同様の傾向を示し、大差は認められなかった。前歯部は著しく少なく僅か88個、5.55%が装着されたのみであった。

これを部位別および年代別にみると各年代とも上顎歯のほうが下顎歯よりも装着数は多かった。

4. 支台歯の生、失活歯別装着数

表4および5に示すとおり計1585歯中、僅かに207歯、13.06%が生活歯で、残りの1378歯、86.94%は失活歯であった。

またこれを年代別および部位別にみても全ての年代で失活歯のほうが多かった。

5. 種類別装着数

表6、7および8に示すごとく最も多く装着されたのは全部鑄造冠で、装着数は1043個、65.80%であった。以下前装冠の315個、19.87%、ジャケット冠の155個、9.78%、一部被覆冠の67個、4.23%と続き、継続歯は僅かに5個、0.32%と最少数であった。

さらに前装冠3種についてみると陶材溶着鑄造冠は269個、16.97%、レジン前装冠は46個、2.90%と、陶材溶着鑄造冠がレジン前装冠の約5.8倍多く、既製陶歯前装冠はみられなかった。一方ジャケット冠2種では全てレジンジャケット冠で、ポーセレンジャケット冠は装着されていなかった。また一部被覆冠は計35個装着され全体の2%強を占めていた。また年代別に単独冠の種類との関係をみると、いずれの年代も全部鑄造冠が最も多い成績であった。

さらに性別との関係を検討すると、男女別にか

表 8：単独冠の種類別および部位別装着数

種類	部位 調査年	3+3	54+45	8-6/6-8	8+8	3+3	54+45	8-6/6-8	8+8	8+8 8+8
全部 鑄造冠	昭58		206 (13.00)	299 (18.86)	505 (31.86)		242 (15.27)	296 (18.68)	538 (33.94)	1043 (65.80)
	昭55		183 (15.97)	159 (13.87)	342 (29.84)		179 (15.62)	203 (17.71)	382 (33.33)	724 (63.18)
	昭52		91 (17.70)	69 (13.42)	160 (31.13)	1 (0.19)	116 (22.57)	90 (17.51)	207 (40.27)	367 (71.40)
	昭49		32 (13.73)	26 (11.16)	58 (24.89)		40 (17.17)	31 (13.30)	71 (30.47)	129 (55.36)
前 装 冠	昭58	214 (13.51)	35 (2.21)	5 (0.32)	254 (16.03)	40 (2.52)	19 (1.20)	2 (0.13)	61 (3.85)	315 (19.87)
	昭55	121 (10.55)	17 (1.48)	3 (0.26)	141 (12.30)	29 (2.53)	13 (1.13)	6 (0.52)	48 (4.19)	189 (16.49)
	昭52	42 (8.17)	7 (1.36)		49 (9.53)	6 (1.17)	5 (0.97)		11 (2.14)	60 (11.67)
	昭49	43 (18.45)	1 (0.43)		44 (18.88)		1 (0.43)		1 (0.43)	45 (19.31)
既製陶歯 前装冠	昭58									
	昭55									
	昭52									
	昭49	7 (3.00)			7 (3.00)					7 (3.00)
レジン前装冠	昭58	31 (1.96)	1 (0.06)		32 (2.02)	14 (0.88)			14 (0.88)	46 (2.90)
	昭55	2 (0.17)			2 (0.17)	7 (0.61)			7 (0.61)	9 (0.78)
	昭52	13 (2.53)			13 (2.53)		2 (0.39)		2 (0.39)	15 (2.92)
	昭49	5 (2.15)			5 (2.15)					5 (2.15)
陶材溶着 鑄造冠	昭58	185 (11.55)	34 (2.15)	5 (0.32)	222 (14.01)	26 (1.64)	19 (1.20)	2 (0.13)	47 (2.97)	269 (16.97)
	昭55	119 (10.38)	17 (1.48)	3 (0.26)	139 (12.13)	22 (1.92)	13 (1.13)	6 (0.52)	41 (3.58)	180 (15.71)
	昭52	29 (5.64)	7 (1.36)		36 (7.00)	6 (1.17)	3 (0.58)		9 (1.75)	45 (8.75)
	昭49	31 (13.30)	1 (0.43)		32 (13.73)		1 (0.43)		1 (0.43)	33 (14.16)
ジャケット冠	昭58	116 (7.32)			116 (7.32)	39 (2.46)			39 (2.46)	155 (9.78)
	昭55	129 (11.26)	1 (0.09)		130 (11.34)	44 (3.84)			44 (3.84)	174 (15.18)
	昭52	49 (9.53)			49 (9.53)	14 (2.72)			14 (2.72)	63 (12.26)
	昭49	10 (4.29)			10 (4.29)	2 (0.86)			2 (0.86)	12 (5.15)
レジン ジャケット冠	昭58	116 (7.32)			116 (7.32)	39 (2.46)			39 (2.46)	155 (9.78)
	昭55	129 (11.26)	1 (0.09)		130 (11.34)	44 (3.84)			44 (3.84)	174 (15.18)
	昭52	49 (9.53)			49 (9.53)	14 (2.72)			14 (2.72)	63 (12.26)
	昭49	9 (3.86)			9 (3.86)	2 (0.86)			2 (0.86)	11 (4.72)
ポーセレン ジャケット冠	昭58									
	昭55									
	昭52									
	昭49	1 (0.43)			1 (0.43)					1 (0.43)
継 続 歯	昭58	1 (0.06)			1 (0.06)	1 (0.06)	1 (0.06)	2 (0.12)	4 (0.25)	5 (0.32)
	昭55			2 (0.17)	2 (0.17)			2 (0.17)	2 (0.17)	4 (0.35)
	昭52	4 (0.78)			4 (0.78)	2 (0.39)			2 (0.39)	6 (1.17)
	昭49	24 (10.30)			24 (10.30)	7 (3.00)			7 (3.00)	31 (13.30)
一 部 被 覆 冠	昭58	13 (0.82)	13 (0.82)	12 (0.76)	38 (2.39)	8 (0.51)	8 (0.51)	13 (0.81)	29 (1.82)	67 (4.23)
	昭55	16 (1.40)	8 (0.70)	3 (0.26)	27 (2.35)	19 (1.66)	6 (0.51)	3 (0.26)	28 (2.45)	55 (4.80)
	昭52	8 (1.56)	2 (0.39)		10 (1.95)	8 (1.56)			8 (1.56)	18 (3.50)
	昭49	8 (3.43)	1 (0.43)		9 (3.86)	4 (1.72)	3 (1.29)		7 (3.00)	16 (6.87)
計	昭58	344 (21.70)	254 (16.03)	316 (19.94)	914 (57.67)	88 (5.55)	270 (17.03)	313 (19.75)	671 (42.33)	1585 (100.00)
	昭55	266 (23.21)	209 (18.24)	167 (14.57)	642 (56.02)	92 (8.03)	198 (17.28)	214 (18.67)	504 (43.98)	1146 (100.00)
	昭52	103 (20.04)	100 (19.46)	69 (13.42)	272 (52.92)	31 (6.03)	121 (23.54)	90 (17.51)	242 (47.08)	514 (100.00)
	昭49	85 (36.48)	34 (14.59)	26 (11.16)	145 (62.23)	13 (5.58)	44 (18.88)	31 (13.30)	88 (37.77)	233 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表9：単独冠支台築造体の種類別および部位別築造数

種類	部位 調査年	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	8+8 8+8
キャスト コア	昭58	304 (22.45)	222 (16.40)	256 (18.91)	782 (57.75)	64 (4.73)	215 (15.88)	257 (18.98)	536 (39.59)	1318 (97.34)
	昭55	220 (23.68)	162 (17.44)	116 (12.49)	498 (53.61)	67 (7.21)	138 (14.85)	151 (16.25)	356 (38.32)	854 (91.93)
	昭52	80 (19.28)	82 (19.76)	54 (13.01)	216 (52.05)	16 (3.86)	85 (20.48)	64 (15.42)	165 (39.76)	381 (91.81)
	昭49	34 (23.45)	28 (19.31)	10 (6.90)	72 (49.66)	1 (0.69)	29 (20.00)	20 (13.79)	50 (34.48)	122 (84.14)
アマルガム コア	昭58			6 (0.44)	6 (0.44)		2 (0.15)	3 (0.22)	5 (0.37)	11 (0.81)
	昭55	2 (0.22)	7 (0.75)	14 (1.51)	23 (2.48)		8 (0.86)	19 (2.05)	27 (2.91)	50 (5.33)
	昭52		4 (0.96)	1 (0.24)	5 (1.20)		1 (0.24)	1 (0.24)	2 (0.48)	7 (1.69)
	昭49						1 (0.69)	1 (0.69)	2 (1.38)	2 (1.38)
レジン コア	昭58	1 (0.07)		2 (0.15)	3 (0.22)			6 (0.44)	6 (0.44)	9 (0.66)
	昭55			1 (0.11)	1 (0.11)		1 (0.11)		1 (0.11)	2 (0.22)
	昭52									
	昭49									
セメント コア	昭58	4 (0.30)	1 (0.07)	7 (0.52)	12 (0.89)		1 (0.07)	3 (0.22)	4 (0.30)	16 (1.18)
	昭55		4 (0.43)	5 (0.54)	9 (0.97)		5 (0.54)	9 (0.97)	14 (1.51)	23 (2.48)
	昭52	6 (1.45)	2 (0.48)	1 (0.24)	9 (2.17)	8 (1.93)	3 (0.72)	7 (1.69)	18 (4.34)	27 (6.51)
	昭49	5 (3.45)	4 (2.76)	4 (2.76)	13 (8.97)	2 (1.38)	2 (1.38)	4 (2.76)	8 (5.52)	21 (14.48)
計	昭58	309 (22.82)	223 (16.47)	271 (20.01)	803 (59.31)	64 (4.73)	218 (16.10)	269 (19.87)	551 (40.69)	1354 (100.00)
	昭55	222 (23.90)	173 (18.62)	136 (14.64)	531 (57.16)	67 (7.21)	152 (16.36)	179 (19.27)	398 (42.84)	929 (100.00)
	昭52	86 (20.72)	88 (21.20)	56 (13.49)	230 (55.42)	24 (5.78)	89 (21.45)	72 (17.35)	185 (44.58)	415 (100.00)
	昭49	39 (26.90)	32 (22.07)	14 (9.66)	85 (58.62)	3 (2.07)	32 (22.07)	25 (17.24)	60 (41.39)	145 (100.00)

() %

昭58：昭和58年

昭55：昭和55年

昭52：昭和52年

昭49：昭和49年

かわらず最も多く装着されたのはやはり全部铸造冠であった。一方、部位別にみると上下顎とも臼歯部では全部铸造冠が最も多かったが、前歯部では前装冠が254個、16.03%で最も多く、次いでレジンジャケット冠の155個、9.78%であった。

6. 支台築造体について

表9および10に示すように築造体総数1354個の

うちキャストコアが最も多く1318個で、大半の97.34%を占めた。次いでセメントコアの16個、1.18%、さらにアマルガムコア11個、0.81%、レジンコア9個、0.66%の順であった。

次に築造体の種類を部位別にみると表9に示すように、どの部位ともキャストコアが最も多かった。顎別築造数は総数1354個のうち上顎は803

表10：単独冠支台築造体の種類別および単独冠の種類別築造数

築造体	調査年	単独冠										計
		全部 鑄造冠	前 装冠	既前 装陶冠	レ ジン 前 装冠	陶 材 鑄 造 着冠	ジ ャ ケ ット 冠	レ ジン ジ ャ ケ ット 冠	ポ ー セ レン ジ ャ ケ ット 冠	継 続 歯	一 部 被 覆 冠	
キャスト コア	昭58	893 (65.95)	275 (20.31)		44 (3.25)	231 (17.06)	141 (10.41)	141 (10.41)			9 (0.66)	1318 (97.34)
	昭55	545 (58.67)	137 (14.75)		9 (0.97)	128 (13.78)	166 (17.87)	166 (17.87)			6 (0.64)	854 (91.93)
	昭52	281 (67.71)	39 (9.40)		12 (2.89)	27 (6.51)	58 (13.93)	58 (13.93)			3 (0.72)	381 (91.81)
	昭49	83 (57.24)	29 (20.00)	5 (3.45)	3 (2.07)	21 (14.48)	8 (5.52)	8 (5.52)			2 (1.38)	122 (84.14)
アマルガム コア	昭58	10 (0.74)	1 (0.07)			1 (0.07)						11 (0.81)
	昭55	46 (4.95)	1 (0.11)			1 (0.11)	2 (0.22)	2 (0.22)			1 (0.11)	50 (5.38)
	昭52	7 (1.69)										7 (1.69)
	昭49	2 (1.38)										2 (1.38)
レジン コア	昭58	8 (0.59)					1 (0.07)	1 (0.07)				9 (0.66)
	昭55	2 (0.22)										2 (0.22)
	昭52											
	昭49											
セメント コア	昭58	13 (0.96)	1 (0.07)			1 (0.07)	1 (0.07)	1 (0.07)			1 (0.07)	16 (1.18)
	昭55	18 (1.94)	3 (0.32)			3 (0.32)					2 (0.22)	23 (2.48)
	昭52	11 (2.65)	5 (1.20)			5 (1.20)	1 (0.24)	1 (0.24)			10 (2.41)	27 (6.51)
	昭49	16 (11.03)	2 (1.38)			2 (1.38)	1 (0.69)	1 (0.69)			2 (1.38)	21 (14.48)
計	昭58	924 (68.24)	277 (20.46)		44 (3.25)	233 (17.21)	143 (10.56)	143 (10.56)			10 (0.74)	1354 (100.00)
	昭55	611 (65.77)	141 (15.18)		9 (0.97)	132 (14.21)	168 (18.08)	168 (18.08)			9 (0.97)	929 (100.00)
	昭52	299 (72.05)	44 (10.60)		12 (2.89)	32 (7.71)	59 (14.22)	59 (14.22)			13 (3.13)	415 (100.00)
	昭49	101 (69.66)	31 (21.38)	5 (3.45)	3 (2.07)	23 (15.86)	9 (6.21)	9 (6.21)			4 (2.76)	145 (100.00)

() %

昭58：昭和58年

昭55：昭和55年

昭52：昭和52年

昭49：昭和49年

個，59.31%，下顎は551個，41.69%と上顎に装着された築造体のほうが多かった。歯群別では前歯部，小白歯部，大白歯部ともに上顎の方が多く，とくに著しい差がみられたのは前歯部で上顎で309個，22.82%に対し下顎は64個，4.73%を数え

るのみで上顎のほうが約4.8倍多かった。

次に単独冠の種類別にみた築造頻度を調べると表10に示すごとく築造体の最も多かった種類は全部鑄造冠の942個で総数1354個のうち68.24%を占めた。次いで前装冠，レジンジャケット冠の順で

表11：架工義歯の年代別およびユニット数別装着数

ユニット数 調査年		3	4	5	6	7	8	計
20歳未満	昭58	3 (0.83)		1 (0.28)				4 (1.11)
	昭55	2 (1.03)						2 (1.03)
	昭52	2 (1.87)						2 (1.87)
	昭49	4 (8.33)						4 (8.33)
20歳代	昭58	59 (16.34)	5 (1.39)	2 (0.55)	1 (0.28)	1 (0.28)	1 (0.28)	69 (19.11)
	昭55	42 (21.54)	6 (3.08)	3 (1.54)	1 (0.51)	1 (0.51)		53 (27.18)
	昭52	34 (31.78)	4 (3.74)	1 (0.93)	1 (0.93)			40 (37.38)
	昭49	8 (16.67)	4 (8.33)	2 (4.17)				14 (29.17)
30歳代	昭58	101 (27.98)	18 (4.99)	10 (2.77)	4 (1.11)		1 (0.28)	134 (37.12)
	昭55	48 (24.62)	2 (1.03)		1 (0.51)			51 (26.15)
	昭52	31 (28.97)	4 (3.74)					35 (32.71)
	昭49	10 (20.83)	1 (2.08)	3 (6.25)				14 (29.17)
40歳代	昭58	63 (17.45)	8 (2.22)	7 (1.94)	3 (0.83)		1 (0.28)	82 (22.71)
	昭55	39 (20.00)	6 (3.08)				1 (0.51)	46 (23.59)
	昭52	12 (11.21)	1 (0.93)		1 (0.93)			14 (13.08)
	昭49	5 (10.42)	1 (2.08)					6 (12.50)
50歳代	昭58	38 (10.53)	12 (3.32)	2 (0.55)	3 (0.83)			55 (15.24)
	昭55	26 (13.33)	2 (1.03)	3 (1.54)	1 (0.51)			32 (16.41)
	昭52	7 (6.54)		1 (0.93)	2 (1.87)			10 (9.35)
	昭49	4 (8.33)	2 (4.17)	4 (8.33)				10 (20.83)
60歳代	昭58	12 (3.32)		2 (0.55)				14 (3.88)
	昭55	3 (1.54)	2 (1.03)	1 (0.51)				6 (3.08)
	昭52	2 (1.87)	1 (0.93)	1 (0.93)				4 (3.74)
	昭49							
70歳代	昭58	2 (0.55)	1 (0.28)					3 (0.83)
	昭55	1 (0.51)	3 (1.54)	1 (0.51)				5 (2.56)
	昭52	2 (1.87)						2 (1.87)
	昭49							
80歳以上	昭58							
	昭55							
	昭52							
	昭49							
計	昭58	278 (77.01)	44 (12.19)	24 (6.65)	11 (3.05)	1 (0.28)	3 (0.83)	361 (100.00)
	昭55	161 (87.56)	21 (10.77)	8 (4.10)	3 (1.54)	1 (0.51)	1 (0.51)	195 (100.00)
	昭52	90 (84.11)	10 (9.35)	3 (2.80)	4 (3.74)			107 (100.00)
	昭49	31 (64.58)	8 (16.67)	9 (18.75)				48 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表12：架工義歯と性別

性別 調査年	男	女	計
昭58	165 (45.71)	196 (54.29)	361 (100.00)
昭55	110 (56.41)	85 (43.59)	195 (100.00)
昭52	54 (50.47)	53 (49.53)	107 (100.00)
昭49	30 (62.50)	18 (37.50)	48 (100.00)

() %

昭58：昭和58年

昭55：昭和55年

昭52：昭和52年

昭49：昭和49年

あった。

E. 架工義歯について

1. 年代別装着数

表11に示すように最も多く装着された年代は30歳代で、以下40歳代、20歳代、50歳代の順になり、これらを合計すると340装置を数え、全体の94.18%を占めた。

2. 性別装着数

性別にみると表12に示すように総数361装置のうち男は165装置、女は196装置であった。また60歳代と70歳代を除くと、各年代とも女の装着数が男よりも多い結果であった。

3. ユニット数別装着数

表11に示すとおり、最も製作数の多い架工義歯は3ユニットのもので278装置を数え、全体の77.01%を占めた。以下4ユニットの44装置、12.19%、5ユニットの24装置、6.65%、6ユニットの11装置、0.83%、7ユニットの1装置、0.28%と続き8ユニット以上のものはなかった。年代別装着頻度との関係を見ると各年代とも3ユニットが最も多かった。

4. 架工歯数別装着数

表13に示すごとく架工歯数1個の架工義歯が最も多く総数の83.93%と大半を占めた。以下2個のものが49装置、13.57%、3個のものが5装置、1.39%、4個のものが4装置、1.11%と続き、架工歯数が5個以上の架工義歯は、みられなかった。

年代別との関係をもても、架工歯1個の架工義歯が最も多く、30歳代を除いて架工歯数が増加する毎に装着数は減少した。

表13：架工義歯の架工歯数別および年代別装着数

架工歯数 調査年 年代	1	2	3	4	5	計
20歳未満	昭58 3 (0.83)	1 (0.28)				4 (1.11)
	昭55 2 (1.03)					2 (1.03)
	昭52 2 (1.87)					2 (1.87)
	昭49 4 (8.33)					4 (8.33)
20歳代	昭58 58 (16.07)	8 (2.22)		1 (0.28)		67 (18.56)
	昭55 47 (24.10)	5 (2.56)	1 (0.51)			53 (27.18)
	昭52 36 (33.64)	4 (3.74)				40 (37.38)
	昭49 9 (18.75)	5 (10.42)				14 (29.17)
30歳代	昭58 108 (29.92)	23 (6.37)	1 (0.28)	2 (0.55)		134 (37.12)
	昭55 50 (25.64)	1 (0.51)				51 (26.15)
	昭52 32 (29.91)	3 (2.80)				35 (32.71)
	昭49 11 (22.92)	3 (6.25)				14 (29.17)
40歳代	昭58 76 (21.05)	9 (2.49)	2 (0.55)	1 (0.28)		88 (24.38)
	昭55 45 (23.08)			1 (0.51)		46 (23.59)
	昭52 12 (11.21)	1 (0.93)	1 (0.93)			14 (13.08)
	昭49 5 (10.42)	1 (2.08)				6 (12.50)
50歳代	昭58 43 (11.91)	6 (1.66)	2 (0.55)			51 (14.13)
	昭55 28 (14.36)	4 (2.05)				32 (16.41)
	昭52 8 (7.48)	1 (0.93)		1 (0.93)		10 (9.35)
	昭49 5 (10.42)	5 (10.42)				10 (20.83)
60歳代	昭58 13 (3.60)	1 (0.28)				14 (3.88)
	昭55 5 (2.56)	1 (0.51)				6 (3.08)
	昭52 3 (2.80)	1 (0.93)				4 (3.74)
	昭49					
70歳代	昭58 2 (0.55)	1 (0.28)				3 (0.83)
	昭55 4 (2.05)	1 (0.51)				5 (2.56)
	昭52 2 (1.87)					2 (1.87)
	昭49					
80歳以上	昭58					
	昭55					
	昭52					
	昭49					
計	昭58 303 (83.93)	49 (13.57)	5 (1.39)	4 (1.11)		361 (100.00)
	昭55 181 (92.82)	12 (6.15)	1 (0.51)	1 (0.51)		195 (100.00)
	昭52 95 (88.79)	10 (9.35)	1 (0.93)	1 (0.93)		107 (100.00)
	昭49 34 (70.83)	14 (29.17)				48 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表14：架工義歯支台装置の年代別および部位別装着数

年代	部位 調査年									
		3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	8+8 8+8
20歳未満	昭58		2 (0.25)	2 (0.25)	4 (0.50)	3 (0.38)	1 (0.13)	1 (0.13)	5 (0.63)	9 (1.13)
	昭55	2 (0.47)			2 (0.47)		1 (0.23)	1 (0.23)	2 (0.47)	4 (0.93)
	昭52		1 (0.44)	1 (0.44)	2 (0.88)		1 (0.44)	1 (0.44)	2 (0.88)	4 (1.75)
	昭49		2 (1.85)	2 (1.85)	4 (3.70)		2 (1.85)	2 (1.85)	4 (3.70)	8 (7.41)
20歳代	昭58	22 (2.77)	21 (2.64)	16 (2.02)	59 (7.43)	2 (0.25)	41 (5.16)	46 (5.79)	89 (11.21)	148 (18.64)
	昭55	11 (2.57)	17 (3.97)	17 (3.97)	45 (10.51)	3 (0.70)	34 (7.94)	36 (8.41)	73 (17.06)	118 (27.57)
	昭52	9 (3.95)	16 (7.02)	12 (5.26)	37 (16.23)		25 (10.96)	24 (10.53)	49 (21.49)	86 (37.72)
	昭49	9 (8.33)	5 (4.63)	4 (3.70)	18 (16.67)		7 (6.48)	6 (5.56)	13 (12.04)	31 (28.70)
30歳代	昭58	57 (7.18)	49 (6.17)	39 (4.91)	145 (18.26)	7 (0.88)	68 (8.56)	70 (8.82)	145 (18.26)	290 (36.52)
	昭55	12 (2.80)	20 (4.67)	17 (3.97)	49 (11.45)		27 (6.31)	30 (7.01)	57 (13.32)	106 (24.77)
	昭52	10 (2.80)	12 (5.26)	11 (4.82)	33 (14.47)	3 (1.32)	17 (7.46)	18 (7.89)	38 (16.67)	71 (31.14)
	昭49	10 (9.26)	6 (5.56)	5 (4.63)	21 (19.44)		5 (4.63)	6 (5.56)	11 (10.19)	32 (29.63)
40歳代	昭58	35 (4.41)	38 (4.79)	23 (2.90)	96 (12.09)	9 (1.13)	35 (4.41)	43 (5.42)	87 (10.96)	183 (23.05)
	昭55	3 (0.70)	26 (6.07)	27 (6.31)	56 (13.08)	7 (1.64)	22 (5.14)	15 (3.50)	44 (10.28)	100 (23.36)
	昭52	6 (2.63)	3 (1.32)	5 (2.19)	14 (6.14)	3 (1.32)	5 (2.19)	7 (3.07)	15 (6.58)	29 (12.72)
	昭49	4 (3.70)	2 (1.85)	2 (1.85)	8 (7.41)		2 (1.85)	2 (1.85)	4 (3.70)	12 (11.11)
50歳代	昭58	16 (2.02)	26 (3.27)	22 (2.77)	64 (8.06)	1 (0.13)	29 (3.65)	32 (4.04)	62 (7.81)	126 (15.87)
	昭55	7 (1.64)	11 (2.57)	10 (2.34)	28 (6.54)	1 (0.23)	22 (5.14)	20 (4.67)	43 (10.05)	71 (16.57)
	昭52	3 (1.32)	6 (2.63)	8 (3.51)	17 (7.46)	6 (2.63)	1 (0.44)		7 (3.07)	24 (10.53)
	昭49	2 (1.85)	3 (2.78)	4 (3.70)	9 (8.33)	2 (1.85)	7 (6.48)	7 (6.48)	16 (14.81)	25 (23.15)
60歳代	昭58	3 (0.38)	6 (0.76)	8 (1.01)	17 (2.14)		7 (0.88)	8 (1.01)	15 (1.89)	32 (4.03)
	昭55	3 (0.70)	3 (0.70)	3 (0.70)	9 (2.10)	3 (0.70)	1 (0.23)	2 (0.47)	6 (1.40)	15 (3.50)
	昭52	3 (1.32)	2 (0.88)	2 (0.88)	7 (3.07)		2 (0.88)	1 (0.44)	3 (1.32)	10 (4.39)
	昭49									
70歳代	昭58		1 (0.13)	1 (0.13)	2 (0.25)		2 (0.25)	2 (0.25)	4 (0.50)	6 (0.76)
	昭55	3 (0.70)	4 (0.93)	1 (0.23)	8 (1.87)		3 (0.70)	3 (0.70)	6 (1.40)	14 (3.27)
	昭52						2 (0.88)	2 (0.88)	4 (1.75)	4 (1.75)
	昭49									
80歳以上	昭58									
	昭55									
	昭52									
	昭49									
計	昭58	133 (16.75)	143 (18.01)	111 (13.98)	387 (48.74)	22 (2.77)	183 (23.05)	202 (25.44)	407 (51.26)	794 (100.00)
	昭55	41 (9.58)	81 (18.93)	75 (12.52)	197 (46.03)	14 (3.27)	110 (25.70)	107 (25.00)	231 (53.97)	428 (100.00)
	昭52	31 (13.60)	40 (17.54)	39 (17.11)	110 (48.25)	12 (5.26)	53 (23.25)	53 (23.25)	118 (51.75)	228 (100.00)
	昭49	25 (22.15)	18 (16.67)	17 (15.74)	60 (55.56)	2 (1.85)	23 (21.30)	23 (21.30)	48 (44.44)	108 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表15：架工義歯支台歯の生・失活歯別および年代別装着数

支台歯 の状態	調 査 年	年 代								計
		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
生活歯	昭58	8 (1.01)	82 (10.33)	128 (16.12)	93 (11.71)	65 (8.19)	11 (1.39)	5 (0.63)		392 (49.37)
	昭55	1 (0.23)	97 (22.66)	66 (15.42)	56 (13.08)	35 (8.18)	4 (0.93)	2 (0.47)		261 (60.98)
	昭52	4 (1.75)	52 (22.81)	47 (20.61)	19 (8.33)	20 (8.77)	5 (2.19)	4 (1.75)		151 (66.23)
	昭49	4 (3.70)	19 (17.59)	19 (17.59)	7 (6.48)	12 (11.11)				61 (56.48)
失活歯	昭58	1 (0.13)	66 (8.31)	162 (20.40)	90 (11.34)	61 (7.68)	21 (2.64)	1 (0.13)		402 (50.63)
	昭55	3 (0.70)	21 (4.91)	40 (9.35)	44 (10.28)	36 (8.41)	11 (2.57)	12 (2.80)		167 (39.02)
	昭52		34 (14.91)	24 (10.53)	10 (4.39)	4 (1.75)	5 (2.19)			77 (33.77)
	昭49	4 (3.70)	12 (11.11)	13 (12.04)	5 (4.63)	13 (12.04)				47 (43.52)
計	昭58	9 (1.13)	148 (18.64)	290 (36.52)	183 (23.05)	126 (15.87)	32 (4.03)	6 (0.76)		794 (100.00)
	昭55	4 (0.93)	118 (27.57)	106 (24.77)	100 (23.36)	71 (16.59)	15 (3.50)	14 (3.27)		428 (100.00)
	昭52	4 (1.75)	86 (37.72)	71 (31.14)	29 (12.72)	24 (10.53)	10 (4.39)	4 (1.75)		228 (100.00)
	昭49	8 (7.41)	31 (28.70)	32 (29.63)	12 (11.11)	25 (23.15)				108 (100.00)

()%

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表16：架工義歯支台歯の生・失活歯別および部位別装着数

支台歯 の状態	調 査 年	部 位								計
		3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	
生活歯	昭58	57 (7.18)	64 (8.06)	57 (7.18)	178 (22.42)	13 (1.64)	107 (13.48)	94 (11.84)	214 (26.95)	392 (49.37)
	昭55	26 (6.07)	50 (11.68)	50 (11.68)	126 (29.44)	10 (2.34)	65 (15.17)	60 (14.02)	135 (31.54)	261 (60.98)
	昭52	16 (7.02)	26 (11.40)	24 (10.53)	66 (28.95)	10 (4.39)	41 (17.98)	34 (14.91)	85 (37.28)	151 (66.23)
	昭49	18 (16.67)	10 (9.26)	11 (10.19)	39 (36.11)	2 (1.85)	11 (10.19)	9 (8.33)	22 (20.37)	61 (56.48)
失活歯	昭58	76 (9.57)	79 (9.95)	54 (6.80)	209 (26.32)	9 (1.13)	76 (9.57)	108 (13.60)	193 (24.31)	402 (50.63)
	昭55	15 (3.50)	30 (7.01)	26 (6.07)	71 (16.59)	4 (0.93)	45 (10.51)	47 (10.98)	96 (22.43)	167 (39.02)
	昭52	15 (6.58)	14 (6.14)	15 (6.58)	44 (19.30)	2 (0.88)	12 (5.26)	19 (8.33)	33 (14.47)	77 (33.77)
	昭49	7 (6.48)	8 (7.41)	6 (5.56)	21 (19.44)		12 (11.11)	14 (12.96)	26 (24.07)	47 (43.52)
計	昭58	133 (16.75)	143 (17.95)	111 (13.98)	387 (48.74)	22 (2.77)	183 (23.05)	202 (25.44)	407 (51.26)	794 (100.00)
	昭55	41 (9.58)	80 (18.69)	76 (17.76)	197 (46.03)	14 (3.27)	110 (25.70)	107 (25.00)	231 (53.97)	428 (100.00)
	昭52	31 (13.60)	40 (17.54)	39 (17.11)	110 (48.25)	12 (5.26)	53 (23.25)	53 (23.25)	118 (51.75)	228 (100.00)
	昭49	25 (23.15)	18 (16.67)	17 (15.74)	60 (55.56)	2 (1.85)	23 (21.30)	23 (21.30)	48 (44.44)	108 (100.00)

()%

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表17：架工義歯支台装置の種類別および年代別装着数

種類	年代 調査年	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
全部 鑄造冠	昭58	3 (0.38)	99 (12.47)	191 (24.06)	114 (14.36)	94 (11.84)	27 (3.40)	6 (0.76)		534 (67.25)
	昭55		83 (19.39)	89 (20.79)	80 (18.69)	61 (14.25)	9 (2.10)	9 (2.10)		331 (77.34)
	昭52	4 (1.75)	71 (31.14)	51 (22.37)	19 (8.33)	13 (57.70)	7 (3.07)	4 (1.75)		169 (74.12)
	昭49	8 (7.41)	19 (17.59)	20 (18.51)	7 (6.48)	20 (18.51)				74 (68.52)
前 装 冠	昭58		38 (4.79)	67 (8.44)	46 (5.79)	16 (2.02)	7 (0.25)			169 (21.28)
	昭55	4 (0.93)	23 (5.37)	6 (1.40)	10 (2.34)	8 (1.87)	6 (1.40)	5 (1.17)		62 (14.48)
	昭52		13 (5.70)	8 (3.51)	8 (3.51)	5 (2.19)	3 (1.31)			37 (16.23)
	昭49		7 (6.48)	6 (5.56)	2 (1.85)					15 (13.89)
既 製 陶 歯 前 装 冠	昭58									
	昭55									
	昭52			2 (0.88)						2 (0.88)
	昭49		3 (2.78)							3 (2.78)
レジン前装冠	昭58			15 (1.89)	6 (0.76)	8 (1.01)				29 (3.65)
	昭55		1 (0.23)							1 (0.23)
	昭52		5 (2.19)	2 (0.88)		3 (1.32)	1 (0.44)			11 (4.82)
	昭49			4 (3.70)						4 (3.70)
陶 材 溶 着 鑄 造 冠	昭58		38 (4.79)	52 (6.55)	40 (5.04)	8 (1.01)	2 (0.25)			140 (17.63)
	昭55	4 (0.93)	22 (5.14)	6 (1.40)	10 (2.34)	8 (1.87)	6 (1.40)	5 (1.17)		61 (14.25)
	昭52		8 (3.51)	4 (1.75)	8 (3.51)	2 (0.88)	2 (0.88)			24 (10.53)
	昭49		4 (3.70)	2 (1.85)	2 (1.85)					8 (7.41)
ジャケット冠	昭58									
	昭55		1 (0.23)							1 (0.23)
	昭52									
	昭49									
レジン ジャケット冠	昭58									
	昭55									
	昭52									
	昭49									
ポーセレン ジャケット冠	昭58									
	昭55		1 (0.23)							1 (0.23)
	昭52									
	昭49									
継 続 歯	昭58			1 (0.13)						1 (0.13)
	昭55									
	昭52			2 (0.88)						2 (0.88)
	昭49				1 (0.93)	1 (0.93)				2 (1.85)
一 部 被 覆 冠	昭58	6 (0.76)	11 (1.39)	31 (3.90)	23 (2.90)	16 (2.02)	3 (0.38)			90 (11.34)
	昭55		11 (2.57)	11 (2.57)	10 (2.34)	2 (0.46)				34 (7.94)
	昭52		2 (0.88)	10 (4.39)	2 (0.88)	6 (2.63)				20 (8.77)
	昭49		5 (4.63)	6 (5.56)	2 (1.85)	4 (3.70)				12 (15.74)
計	昭58	9 (1.13)	148 (18.64)	290 (39.52)	183 (23.06)	126 (15.87)	32 (4.03)	6 (0.76)		794 (100.00)
	昭55	4 (0.93)	118 (27.57)	106 (24.77)	100 (23.36)	71 (16.59)	15 (3.50)	14 (3.27)		428 (100.00)
	昭52	4 (1.75)	86 (37.72)	71 (31.14)	29 (12.72)	24 (10.53)	10 (4.39)	4 (1.75)		228 (100.00)
	昭49	8 (7.41)	31 (28.70)	32 (29.63)	12 (11.11)	25 (23.15)				108 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

F. 架工義歯支台装置について

1. 年代別装着数

表14に示すごとく最多装着年代は30歳代で、装着数は290個を数え、全体の36.52%を占めた。次に40歳代の183個、23.05%が続き、以下20歳、50歳、60歳代の順に装着数は減少し20歳未満、70歳代では、それぞれ9個、1.13%と6個、0.76%を数えるのみであった。また20歳、30歳、40歳、および50歳代における装着数の合計は750個で、総数794個の約95%を占めた。

2. 性別装着数

表18に示すごとく、男の装着数は総数794個中の360個、45.34%で、女の434個、54.66%と比べると女のほうが約1.2倍多い結果であった。

3. 部位別装着数

表14のごとく上顎に装着した個数は387個、48.74%で、これに対して、20個多い下顎は407個、51.26%であった。歯群別にみると上顎では小臼歯部が143個、18.01%で最も多い頻度を示し、次いで前歯部の133個、16.75%と続き、最も頻度が少ないのは大臼歯部の111個、13.98%であった。また下顎では大臼歯部の202個、25.44%と小臼歯部の183個、23.05%との間には大差を認めなかったが、前歯部の22個、2.77%は他の歯群に比べて著しく少数であった。

年代別装着頻度との関係をみると、上、下顎、各歯群ともに20歳、30歳、40歳、50歳代の各年代における装着頻度が他の年代よりも多いものが大部分で、なかでも20歳、30歳代の下顎小、大臼歯部および30歳代の上顎前、小臼歯部での装着頻度は、いずれも全体の5%以上の高率を示した。

4. 支台歯の生、失活歯別装着数

表15および16に示すごとく支台歯のうちで生活歯への装着数は392個、49.37%、失活歯では402個、50.63%で両者の差は僅かであった。

また年代別との関係をみると生、失活歯支台歯ともに20歳、30歳、40歳、50歳代の装着数が他の年代よりも多いことが観察された。

次に部位別装着頻度との関係をみると、上顎では失活歯のほうが生活歯よりも装着数が多かったが、下顎では生活歯のほうが多かった。上顎のなかでは、大臼歯部のみ生活歯が57個、7.18%、失活歯が54個、6.80%と、わずかに生活歯を支台歯とするものが多く、他は失活歯のほうが多かった。

表18：架工義歯の種類別および性別装着数

種類	調査年	性別		
		男	女	計
全部 鑄造冠	昭58	228 (27.72)	306 (38.54)	534 (67.25)
	昭55	182 (42.52)	149 (34.81)	331 (77.34)
	昭52	82 (35.96)	87 (38.16)	169 (74.12)
	昭49	49 (45.37)	25 (23.15)	74 (68.52)
	昭58	80 (10.07)	89 (11.21)	169 (21.28)
前 装 冠	昭55	32 (7.48)	30 (7.01)	62 (14.48)
	昭52	20 (8.77)	17 (7.46)	37 (16.23)
	昭49	3 (2.78)	12 (11.11)	15 (13.89)
	昭58			
既製陶歯 前装冠	昭55			
	昭52	2 (0.88)		2 (0.88)
	昭49		3 (2.78)	3 (2.78)
レジン前装冠	昭58	15 (1.89)	14 (1.76)	29 (3.65)
	昭55		1 (0.23)	1 (0.23)
	昭52	2 (0.88)	9 (3.95)	11 (4.83)
	昭49	1 (0.93)	3 (2.78)	4 (3.70)
陶材溶着 鑄造冠	昭58	65 (8.18)	75 (9.45)	140 (17.63)
	昭55	32 (7.48)	29 (6.78)	61 (14.25)
	昭52	16 (7.02)	8 (3.51)	24 (10.53)
	昭49	2 (1.85)	6 (5.56)	8 (7.41)
ジャケット冠	昭58			
	昭55		1 (0.23)	1 (0.23)
	昭52			
レジン ジャケット冠	昭49			
	昭58			
	昭55			
ポーセレン ジャケット冠	昭52			
	昭49			
	昭58		1 (0.23)	1 (0.23)
継 続 歯	昭55		1 (0.13)	1 (0.13)
	昭52		2 (0.88)	2 (0.88)
	昭49	1 (0.93)	1 (0.93)	2 (1.85)
	昭58	52 (6.55)	38 (4.78)	90 (11.34)
	昭55	24 (5.61)	10 (2.33)	34 (7.94)
一 部 被 覆 冠	昭52	15 (6.58)	5 (2.19)	20 (8.77)
	昭49	14 (12.96)	3 (2.78)	17 (15.74)
	昭58	360 (45.34)	434 (54.66)	794 (100.00)
計	昭55	238 (55.61)	190 (44.39)	428 (100.00)
	昭52	117 (51.32)	111 (48.68)	228 (100.00)
	昭49	67 (62.04)	41 (37.96)	108 (100.00)
	昭58			

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表19：架工義歯支台装置の種類別および部位別装着数

種類	部位 調査年	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	8+8 8+8
全 部 鑄 造 冠	昭58		95 (11.96)	100 (12.59)	195 (24.56)		153 (19.27)	186 (23.43)	339 (42.70)	534 (67.25)
	昭55		61 (14.25)	75 (17.52)	136 (31.78)		94 (21.96)	101 (23.60)	195 (45.56)	331 (77.34)
	昭52		36 (15.79)	37 (16.23)	73 (32.02)		46 (20.10)	50 (21.93)	96 (42.11)	169 (74.12)
	昭49		16 (14.81)	16 (14.81)	32 (29.62)		19 (17.59)	23 (21.29)	42 (38.88)	74 (68.52)
	昭58	112 (14.11)	30 (3.76)	6 (0.76)	148 (18.64)	10 (1.26)	6 (0.76)	5 (0.63)	21 (2.64)	169 (21.28)
前 装 冠	昭55	34 (7.94)	9 (2.10)		43 (10.04)	9 (2.10)	7 (1.64)	3 (0.70)	19 (4.44)	62 (14.48)
	昭52	26 (11.40)	3 (1.32)	1 (0.44)	30 (13.16)	5 (2.19)	2 (0.88)		7 (3.07)	37 (16.23)
	昭49	12 (11.11)	2 (1.85)	1 (0.93)	15 (13.89)					15 (13.89)
	昭58									
既 製 陶 歯 前 装 冠	昭55									
	昭52	2 (0.88)			2 (0.88)					2 (0.88)
	昭49	3 (2.78)			3 (2.78)					3 (2.78)
	昭58	23 (2.90)	4 (0.50)		27 (3.40)	2 (0.25)			2 (0.25)	29 (3.65)
レジン前装冠	昭55		1 (0.23)		1 (0.23)					1 (0.23)
	昭52	8 (3.51)	1 (0.44)		9 (3.95)	1 (0.44)	1 (0.44)		2 (0.88)	11 (4.82)
	昭49	3 (2.78)	1 (0.93)		4 (3.70)					4 (3.70)
	昭58	89 (11.21)	26 (3.26)	6 (0.76)	121 (15.24)	8 (1.01)	6 (0.76)	5 (0.63)	19 (2.39)	140 (17.63)
陶材溶着 鑄造冠	昭55	34 (7.94)	8 (1.87)		42 (9.81)	9 (2.10)	7 (1.64)	3 (0.70)	19 (4.44)	61 (14.25)
	昭52	16 (7.02)	2 (0.88)	1 (0.44)	19 (8.33)	4 (1.75)	1 (0.44)		5 (2.19)	24 (10.53)
	昭49	6 (5.56)	1 (0.93)	1 (0.93)	8 (7.41)					8 (7.41)
	昭58									
ジャケット冠	昭55			1 (0.23)	1 (0.23)					1 (0.23)
	昭52									
	昭49									
	昭58									
レジン ジャケット冠	昭55									
	昭52									
	昭49									
	昭58									
ポーセレン ジャケット冠	昭55			1 (0.23)	1 (0.23)					1 (0.23)
	昭53									
	昭49									
	昭58									
継 続 歯	昭55					1 (0.13)			1 (0.13)	1 (0.13)
	昭52	2 (0.88)			2 (0.88)					2 (0.88)
	昭49	2 (1.85)			2 (1.85)					2 (1.85)
	昭58	21 (2.65)	18 (2.27)	5 (0.63)	44 (5.54)	11 (1.39)	24 (3.02)	11 (1.39)	50 (6.30)	90 (11.34)
一 部 被 覆 冠	昭55	7 (1.64)	10 (2.33)		17 (3.97)	5 (1.17)	9 (2.10)	3 (0.70)	17 (2.77)	34 (7.94)
	昭52	3 (1.32)	1 (0.44)	1 (0.44)	5 (2.19)	7 (3.07)	5 (2.19)	3 (1.32)	16 (6.58)	20 (8.77)
	昭49	11 (10.19)			11 (10.19)	2 (1.85)	4 (3.70)	23 (21.30)	6 (5.56)	17 (15.74)
	昭58	133 (16.75)	143 (18.01)	111 (13.98)	387 (48.74)	22 (2.77)	183 (23.05)	202 (25.44)	407 (51.26)	794 (100.00)
計	昭55	41 (9.58)	80 (18.69)	76 (17.76)	197 (45.03)	14 (3.27)	110 (25.70)	107 (25.00)	231 (53.97)	428 (100.00)
	昭52	31 (13.60)	40 (17.54)	39 (17.11)	110 (48.25)	12 (5.26)	53 (23.25)	53 (23.25)	118 (51.75)	228 (100.00)
	昭49	25 (23.15)	18 (16.67)	17 (15.74)	60 (55.56)	2 (1.85)	23 (21.30)	23 (21.30)	48 (44.44)	108 (100.00)
	昭58									

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

表20：架工義歯支台築造体の種類別および部位別築造数

種類	調査年	部位								
		3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	$\frac{8+8}{8+8}$
キャスト コア	昭58	75 (18.75)	76 (19.00)	47 (11.75)	198 (49.50)	8 (2.00)	67 (16.75)	101 (25.25)	179 (44.75)	374 (93.50)
	昭55	15 (9.09)	28 (16.97)	23 (13.94)	66 (40.00)	2 (1.21)	37 (22.42)	34 (20.61)	73 (44.24)	139 (84.24)
	昭52	10 (13.33)	12 (16.00)	11 (14.67)	33 (44.00)	2 (2.67)	9 (12.00)	12 (16.00)	23 (30.67)	56 (74.67)
	昭49	5 (11.11)	4 (8.89)	6 (13.33)	15 (33.33)		8 (17.78)	9 (20.00)	17 (37.78)	32 (71.11)
アマルガム コア	昭58		1 (0.25)		1 (0.25)		2 (0.50)	3 (0.75)	3 (0.75)	6 (1.50)
	昭55		1 (0.61)		1 (0.61)		3 (1.81)	10 (6.06)	13 (7.88)	14 (8.48)
	昭52						2 (2.67)	2 (2.67)	4 (5.33)	4 (5.33)
	昭49									
レジン コア	昭58						3 (0.75)	1 (0.25)	4 (1.00)	4 (1.00)
	昭55									
	昭52									
	昭49									
セメント コア	昭58		2 (0.50)	7 (1.75)	9 (2.25)		4 (1.00)	3 (0.75)	7 (1.75)	16 (4.00)
	昭55		1 (0.61)	3 (1.81)	4 (2.42)		5 (3.03)	3 (1.81)	8 (4.85)	12 (7.27)
	昭52	3 (4.00)	2 (2.67)	4 (5.33)	9 (12.00)		1 (1.33)	5 (6.67)	6 (8.00)	15 (20.00)
	昭49		4 (8.89)		4 (8.89)		4 (8.89)	5 (11.11)	9 (20.00)	13 (28.89)
計	昭58	75 (18.75)	79 (19.75)	54 (13.50)	208 (52.00)	8 (2.00)	76 (19.00)	108 (27.00)	195 (48.75)	400 (100.00)
	昭55	15 (9.09)	30 (18.18)	26 (15.76)	71 (43.03)	2 (1.21)	45 (27.27)	47 (28.48)	94 (56.97)	165 (100.00)
	昭52	13 (17.33)	14 (18.67)	15 (20.00)	42 (56.00)	2 (2.67)	12 (16.00)	19 (25.33)	33 (44.00)	75 (100.00)
	昭49	5 (11.11)	8 (17.78)	6 (13.33)	19 (42.22)		12 (26.67)	14 (31.11)	26 (57.78)	45 (100.00)

() %

昭58：昭和58年

昭52：昭和52年

昭55：昭和55年

昭49：昭和49年

また下顎の中で歯群別にみると、大臼歯部では失活歯が108個、13.60%、生活歯が94個、11.84%となり失活歯を支台歯とするほうが多かったが、前歯部、小臼歯部ではいずれも生活歯のほうが多かった。

5. 支台装置の種類別装着数

表17、18および19に示すごとく、最も多く装着された架工義歯支台装置は全部铸造冠で、装着数は

534個、67.25%であった。以下、前装冠の169個、21.28%、一部被覆冠の67個、15.02%と続き、継続歯はわずか1個、0.13%を数えるのみで、ジャケット冠はなかった。

さらに前装冠の3種について調査を加えると、陶材溶着铸造冠が140個、17.63%で最も多く、次いでレジン前装冠の29個、3.65%が続き、既製陶歯前装冠の装着数は皆無であった。

表21：架工義歯支台築造体の種類別および架工義歯支台装置の種類別築造数

種類	支台歯の種類 調査年	全部 鑄造冠	前 装冠	既 製前 陶装冠	レ ジ ン前 装冠	陶 材鑄 造着冠	ジャ ケット冠	ジャ ケット冠 レジン	ジャ ケット冠 ポーセ レン	継 続 歯	一 部被 覆冠	計
キャスト コア	昭58	259 (64.75)	110 (27.50)		21 (5.25)	89 (22.25)					5 (1.25)	374 (93.50)
	昭55	120 (72.73)	19 (11.52)			19 (11.52)						139 (84.24)
	昭52	44 (58.67)	12 (16.00)		3 (4.00)	9 (12.00)						56 (74.67)
	昭49	27 (6.00)	3 (6.67)	1 (2.22)	2 (4.44)						2 (4.44)	32 (71.11)
アマルガム コア	昭58	4 (1.00)	2 (0.50)			2 (0.50)						6 (1.50)
	昭55	14 (8.48)										14 (8.48)
	昭52	4 (5.33)										4 (5.33)
	昭49											
レジン コア	昭58	3 (0.75)	1 (0.25)			1 (0.25)						4 (1.00)
	昭55											
	昭52											
	昭49											
セメント コア	昭58	15 (3.75)									1 (0.25)	16 (4.00)
	昭55	12 (7.27)										12 (7.27)
	昭52	12 (16.00)	3 (4.00)	2 (2.67)		1 (1.33)						15 (20.00)
	昭49	12 (26.67)	1 (2.22)	1 (2.22)								13 (28.89)
計	昭58	281 (70.25)	113 (28.25)		21 (5.25)	92 (23.00)					6 (1.50)	400 (100.00)
	昭55	146 (88.48)	19 (11.52)			19 (11.52)						165 (100.00)
	昭52	60 (80.00)	15 (20.00)	2 (2.67)	3 (4.00)	10 (13.33)						75 (100.00)
	昭49	39 (86.67)	4 (8.89)	2 (4.44)	2 (4.44)						2 (4.44)	45 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

また、一部被覆冠は計73個であった。

支台装置の種類を年代別に装着頻度を調べると、全ての年代で全部鑄造冠が最も多かった。なかでも20歳代から50歳代までに装着された全部鑄造冠の頻度はきわめて多く、総数の93.59%を占める498個を数えた。支台装置の種類別頻度を性別にみると、男女を問わず最も多く装着されたのは、

支台装置の種類別頻度を部位別にみると、まず顎別には、上下顎とも全部鑄造冠が、歯群別には、小、大臼歯部で全部鑄造冠が、また前歯部では前装冠が最も多く観察された。なかでも下顎の小、大臼歯部における全部鑄造冠、上顎前歯部における前装冠は、とくに頻度が高く計451個を数え、全やはり全部鑄造冠であった。

表22：架工歯の年代別および部位別装着数

年代	部位 調査年	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	3+3	54 45	8-6 6-8	8+8	8+8 8+8
20歳未満	昭58		2 (0.45)		2 (0.45)	2 (0.45)	1 (0.23)		3 (0.68)	5 (1.13)
	昭55	1 (0.47)			1 (0.47)			1 (0.47)	1 (0.47)	2 (0.94)
	昭52			1 (0.82)	1 (0.82)			1 (0.82)	1 (0.82)	2 (1.64)
	昭49		1 (1.61)	1 (1.61)	2 (3.23)			2 (3.23)	2 (3.23)	4 (6.45)
20歳代	昭58	13 (2.93)	13 (2.93)	8 (1.80)	34 (7.66)	1 (0.23)	9 (2.03)	35 (7.88)	45 (10.14)	79 (17.79)
	昭55	6 (2.83)	7 (3.30)	12 (5.66)	25 (11.79)	1 (0.47)	6 (2.83)	28 (13.21)	35 (16.51)	60 (28.30)
	昭52	5 (4.10)	6 (4.92)	9 (7.38)	20 (16.39)			24 (19.67)	24 (19.67)	44 (36.07)
	昭49	4 (6.45)	5 (8.06)	1 (1.61)	10 (16.13)		2 (3.23)	7 (11.29)	9 (14.52)	19 (30.65)
30歳代	昭58	29 (6.53)	37 (8.33)	32 (7.21)	98 (22.07)	2 (0.45)	15 (3.38)	59 (13.29)	76 (17.12)	174 (39.19)
	昭55	4 (1.89)	11 (5.19)	9 (4.25)	24 (11.32)		6 (2.83)	22 (10.38)	28 (13.21)	52 (24.53)
	昭52	6 (4.92)	3 (2.46)	7 (5.74)	16 (13.11)	1 (0.82)	7 (5.74)	14 (11.48)	22 (18.03)	38 (31.15)
	昭49	5 (8.06)	3 (4.84)	4 (6.45)	12 (19.35)		2 (3.23)	3 (4.84)	5 (8.06)	17 (27.42)
40歳代	昭58	17 (3.83)	18 (4.05)	21 (4.73)	56 (12.61)	5 (1.13)	10 (2.25)	33 (7.43)	48 (10.81)	104 (23.42)
	昭55	1 (0.47)	8 (3.77)	18 (8.49)	27 (12.74)	5 (2.36)	6 (2.83)	11 (5.19)	22 (10.38)	49 (23.11)
	昭52	2 (1.64)	3 (2.46)	3 (2.46)	8 (6.56)	3 (2.46)	1 (0.82)	5 (4.10)	9 (7.38)	17 (13.93)
	昭49	1 (1.61)	2 (3.23)	1 (1.61)	4 (6.45)			3 (4.84)	3 (4.84)	7 (11.29)
50歳代	昭58	9 (2.03)	11 (2.48)	14 (3.15)	34 (7.66)		8 (1.80)	22 (4.95)	30 (6.76)	64 (14.41)
	昭55	3 (1.42)	7 (3.30)	4 (1.89)	14 (6.60)		3 (1.42)	19 (8.96)	22 (10.38)	36 (16.98)
	昭52	4 (3.28)	3 (2.46)	5 (4.10)	12 (9.84)	1 (0.82)	1 (0.82)		2 (1.64)	14 (11.48)
	昭49		3 (4.84)	3 (4.84)	6 (9.68)		3 (4.84)	6 (9.68)	9 (14.52)	15 (24.19)
60歳代	昭58	1 (0.23)	3 (0.68)	3 (0.68)	7 (1.58)		2 (0.45)	5 (1.13)	7 (1.58)	14 (3.15)
	昭55	1 (0.47)	1 (0.47)	2 (0.94)	4 (1.89)	1 (0.47)	1 (0.47)	1 (0.47)	3 (1.42)	7 (3.30)
	昭52	1 (0.82)	2 (1.64)		3 (2.46)			2 (1.64)	2 (1.64)	5 (4.10)
	昭49									
70歳代	昭58			1 (0.23)	1 (0.23)		2 (0.45)	1 (0.23)	3 (0.68)	4 (0.90)
	昭55	3 (1.42)		1 (0.47)	4 (1.89)			2 (0.94)	2 (0.94)	6 (2.83)
	昭52						2 (1.64)		2 (1.64)	2 (1.64)
	昭49									
80歳以上	昭58									
	昭55									
	昭52									
	昭49									
計	昭58	69 (15.54)	84 (18.92)	79 (17.79)	232 (52.25)	10 (2.25)	47 (10.59)	155 (34.91)	212 (47.75)	444 (100.00)
	昭55	19 (8.96)	34 (16.04)	46 (21.70)	99 (46.70)	7 (3.30)	22 (10.38)	84 (39.62)	113 (53.30)	212 (100.00)
	昭52	18 (14.75)	17 (13.93)	25 (20.49)	60 (49.18)	5 (4.10)	11 (9.02)	46 (37.70)	62 (50.82)	122 (100.00)
	昭49	10 (16.13)	14 (22.58)	10 (16.13)	34 (54.45)		7 (11.29)	21 (33.87)	28 (45.16)	62 (100.00)

() %

昭58：昭和58年 昭52：昭和52年

昭55：昭和55年 昭49：昭和49年

体の56.81%を占めた。

6. 支台築造体について

表20および21に示すごとくキャストコアが最も多く374個であり、総数400個のうちの93.50%を占めた。次いでセメントコア16個、4.00%、さらにアマルガムコアの6個、1.50%、レジンコアの4個、1.00%の順であった。

これを年代別にみると各年代ともキャストコアが最も多く、とくに30歳代では149個と総数の37.25%を占めた。築造部位と築造体の種類との関係をみると表20に示すように、どの部位もキャストコアが最も多く、とくに前歯部は上下顎とも他の種類はみられなかった。顎別には、上顎が208個、52.00%、下顎が195個、48.75%と、上顎がわずかに多かった。歯群別にみると前歯部、小臼歯部ともに上顎が多かった。とくに前歯部では上顎75個、18.75%、下顎に8個、2.00%と約9.4倍上顎の築造体数が多かった。反対に大臼歯部では上顎より下顎のほうが2倍多かった。支台装置の種類と築造頻度との関係をみると、表21に示すとおり最も多く装着された支台装置は全部鑄造冠で、281個を数え、総数400個のうちの70.25%を占めた。次いで前装冠の113個、28.25%であった。

G. 架工歯について

表22に示すごとく、上顎に装着された架工歯数は232個、52.25%で、下顎の212個、47.75%より20個、4.50%多かった。歯群別にみると、上顎では小臼歯部84個、18.92%、大臼歯部79個が、17.79%と大差を認めなかったが前歯部は69個、15.54%と前2者よりやや少なかった。また下顎では大臼歯部が155個、34.91%で最も多く、次いで小臼歯部の47個、10.59%と大きく減少し、前歯部は10個、2.25%で最少数であった。架工歯の年代別装着頻度についてみると、上、下顎および各歯群ともに30歳代および40歳代における装着頻度が他の年代より多いものが大部分で、なかでも30歳代においては、上顎の各歯群ともに全体の6%以上の高い装着率を示した。また下顎大臼歯部においては、20歳、30歳、40歳代ともに全体の7%以上の高い装着率を示した。

考 察

今回の報告は昭和58年1月から同年12月までの1か年間に松本歯科大学病院補綴診療科で冠・架

工義歯補綴物を装着した患者について住所別、年代別、性別頻度を調査し、さらにそれらの患者に装着した単独冠1585個および架工義歯支台装置794個について、それぞれ年代別、性別、部位別、支台歯の生、失活歯別支台装置の種類別装着頻度、さらに築造体に対して年代別、部位別、種類別装着頻度を、また架工義歯361装置および架工歯444個について、架工義歯の場合は年代別、性別、ユニット数別、種類別および架工歯数別に、架工歯の場合は年代別および部位別にそれぞれ装着頻度について調査し、先に報告した昭和49年¹⁷⁾、同52年⁴⁾、同55年²⁾の成績と比べながら検討を加えたものである。

A. 患者総数と地域別患者数について

まず患者総数は計753人で昭和49年¹⁷⁾の116人、同52年⁴⁾の318人、同55年²⁾の537人に比べると調査年毎に増加をみた。これは開院後10年を経て、大学病院での補綴診療科としての存在を認められるとともに、地域住民の口腔衛生知識の向上によることも一因として考えられる。

次にこれを住所別にみると長野県内（除く塩尻市内）が最も多かったが、昭和49年¹⁷⁾、同52年⁴⁾、同55年²⁾における調査結果と比較すると、昭和49年¹⁷⁾には塩尻市内を除く長野県内在住の患者数は41人で総数116人のうち35.34%を占めるのみであったが、昭和52年⁴⁾、同55年²⁾と増加し、昭和58年には391人を数え、総数753人中51.93%と過半数を超えた。長野県内（除く塩尻市内）の患者の占める割合が増加を示したことは、塩尻市の人口が約55,000人（昭和58年12月現在）と、それほど多くないことも一因していると思われるが、補綴科が大学病院の臨床科として塩尻市内だけでなく広く県内在住者から相応の評価を受けつつあることも考えられる。

B. 性別および年代別患者数について

次に患者数を年代別にみるとその大多数は20、30、40、50歳代で、これらの合計数は総数の約90%を占めている。笹本ら(1970)¹⁸⁾は、齲蝕罹患率について調査し、20~50歳代の年代が他の年代よりも罹患率が高率であったことを報告しているが、このことから患者の大多数がこれらの年代に集中して観察されたことは当然の結果と考えられる。

また性別にみると男は322人、44.09%、女は421

人、55.91%であった。昭和49年¹⁷⁾、同52年⁴⁾、同55年²⁾の調査結果と比較すると、昭和49年¹⁷⁾には男が過半数を超えていたが、52年⁴⁾以来男の比率は減少を示している。これは河原ら(1978)⁶⁾や小森ら(1980)^{12,13)}によっても同様の報告がみられ、うなづけるところである。

C. 単独冠について

まず年代別装着頻度では、その大多数は20歳代から50歳代の間に装着されたもので、これらの合計数は、全体の約9割を占めており、前述の患者数の年代別調査において20～50歳代の患者数が多かったことと一致している。これは、これまでの調査^{2,4,17)}と傾向が同じで単独冠の治療年齢がこれらの年代であることを再確認できる結果であった。

また装着頻度を性別にみると男に装着した652個、41.14%の約1.4倍に相当する933個、58.86%が女に装着され、先に報告した昭和49年¹⁷⁾、同52年⁴⁾に比べて比較的患者数の増加した昭和55年²⁾の男女比とほぼ近い結果を得た。これは小森ら(1980)¹³⁾の約3倍、入野ら(1975)³⁾および岸ら(1971)⁹⁾の約2倍に比べてやや少なく、Tylman et al²⁰⁾の約1.5倍に近い数字であるが、いずれにしても女の占める割合が多いことが指摘されている。

次に部位別装着頻度について調査すると、上顎歯は下顎歯よりも約15%多かったが、これは臼歯部での装着数が顎別にはあまり大差を認めなかったにもかかわらず、前歯部での装着数が上顎で344個、21.70%、下顎で88個、5.55%と著しい差があるため、これは、"昭和50年歯科疾患実態調査報告¹⁵⁾"の健全歯の総数に対する歯種別比率をみても上顎より下顎のほうが、10%強も多いことや竹内ら(1952)¹⁹⁾による下顎前歯部の齲蝕罹患率が上顎前歯に比較して低いという著述からもうかがい知ることができる。

また年代別頻度との関係でも全ての年代で下顎歯よりも上顎歯の装着数のほうが多い結果を得たのも、入野ら(1975)³⁾、岸ら(1971)⁹⁾による成績と同様の傾向で、前歯部の冠装着数の差が大きな要因となっている。

次に支台歯の生、失活歯別装着頻度について検討を加えると生活歯207歯、13.06%の約6.7倍が失活歯で、その数は1378歯、86.94%となり調査年毎

に経年的増加傾向をみた。そしてこれらを年代別および部位別にみても全ての年代および部位において失活歯のほうが生活歯よりも多く観察された。先の昭和49年¹⁷⁾、同52年⁴⁾、同55年²⁾の調査でもほぼ同様の傾向を示し、また小森らによる昭和48年¹⁰⁾、同53年¹³⁾の調査でもほぼ同様の傾向を報告している。これは本調査の対象を単独冠としたためで支台歯歯質に大きな実質欠損を有している場合が多かったことと、一方では歯内療法の進歩によって支台歯の保存が、より可能になったことなどによるものと思われる。

単独冠を種類別に、その装着頻度をみると全部鑄造冠が65.80%を占めて最も多く、以下前装冠の19.87%、ジャケット冠の9.78%、一部被覆冠の4.23%と続き、継続歯はわずかに0.32%の最少装着率であった。そして前装冠、ジャケット冠のうち既製陶歯前装冠、陶材ジャケット冠は装着されていなかった。全部鑄造冠については今回の調査を含めて、昭和49年¹⁷⁾、同52年⁴⁾、同55年²⁾の各調査とも全体の65%を相前後して占めているが入野ら(1975)³⁾、小森ら(1977)¹⁰⁾もそれぞれ総製作数の56.2%、59.17%を占めて最多製作数であったことを報告しており、臼歯部での大多数が全部鑄造冠で占められていることを示唆している。また前装冠については近時、陶材溶着鑄造冠あるいは硬質レジン前装冠が普及し、両隣接面齲蝕さらに唇側歯頸側を含めた齲窩に審美的回復の観点より前装冠による歯冠補綴法が採択される傾向が強まっているが、本調査成績もこのような影響によるものと考えられる。また一部被覆冠が低率であったのは本学では補綴科診療室と保存科診療室が別個に設けられている関係上、保存科診療室で装着されたものについては調査対象より除外したことも一因している。継続歯については入野ら(1975)³⁾は2.2%、小森ら(1977)¹⁰⁾は0.52%で最少数であったことを報告しているが、先の昭和52年⁴⁾、同55年²⁾の報告と同様今回も大差なく、全体の0.32%を占めるのみで、継続歯の適応性が著しく限定されてきたことを示すものであろう。

一方年齢別、性別および部位別(前歯部を除く)に、その種類をみると装着頻度はいずれの場合も全部鑄造冠が最多数を示した。

次に支台築造体を種類別にみると、キャストコアーが97.34%と過去の調査年^{2,4,17)}よりもさらに

多数を占めた。このことはキャストコアが他の練成築造体に比して強度が大で漏洩の心配がないということが、製作が複雑であるという欠点を補って余りあることを示しているものであろう。部位別にその種類をみると、いずれもキャストコアが最多数を示した。また築造体数を部位別にみると、上顎の築造体数が下顎よりも約18%多かったが、これは先に述べた単独冠の部位別装着頻度の結果と傾向が一致しており、当然の結果である。

次に単独冠の種類別築造頻度をみるとキャストコア、レジンコア、アマルガムコア、セメントコアともに最も多く装着されたのは、やはり全部鋳造冠で、ついで前装冠、レジンジャケット冠の順であり、この傾向は単独冠の種類別装着頻度と同様であった。

D. 架工義歯について

架工義歯の装着数は計361装置を数えて、調査年^{2,4,17}毎に増加をみ、20歳代から40歳代までの間に全体の80%強が入り、これに50歳代を含めると約95%に達した。これは前回までの調査^{2,4,17}、河原ら(1978)⁷、入野ら(1975)³、甘利ら(1980)¹¹、小森ら(1977)¹²の報告と同様の傾向で、厚生省のまとめた歯科疾患実態調査の昭和50年の報告¹⁵による20歳から49歳までの1人平均喪失歯数0.86~7.88歯および、同56年の報告¹⁶の0.40~6.12歯であったことと架工義歯の適応性の性質とを考え合せると、うなづける成績であった。

また性別装着数では男、女比がほぼ1.0:1.2と女のほうが多いが、これはこれまでの調査でも装着数の著しく少なかった昭和49年¹⁷を除くと、いずれも女のほうが多く、またTylman et al²⁰の著述や甘利ら(1980)¹¹、小森ら(1977)¹²らの報告、昭和56年の厚生省の報告¹⁶をみても同様の傾向であった。

ユニット数別装着頻度では、最も多く装着されたユニット数は3ユニットで77.01%を占めたが、これまでの調査^{2,4,17}でも同様に3ユニットのものが最も多かった。小森ら(1977)¹²の報告でも3ユニットが72.80%を占め、河原ら(1978)⁷も1159装置中5歯以上の欠損歯をもつものは僅かに12装置1%であったことを報告している。これは架工義歯が主として1歯欠損を中心とする少数歯欠損の歯根膜負担義歯であることからみて当然といえ

る。

最高ユニット数の経年的変化では昭和49年¹⁷が5ユニット、同52年⁴が6ユニット、同55年²が8ユニットで、年を追って最高ユニット数は大きくなる傾向にある。このことは先にも述べたとおり、補綴学、材料学の進歩により、多数歯欠損症例にも架工義歯を適応できるようになったということもあろうが、装着数の経年的増加に伴い多数例中の少数例と考えるほうが理解しやすい。

次に架工歯数別装着頻度についてみると架工歯1個のものが83.93%を占めたが、これは先のユニット別装着頻度の結果が3ユニットが最も多かったことから当然の結果といえる。

次に架工義歯支台装置について検討すると、まず年代別装着頻度をみると、その大多数は20歳代から50歳代までで、これらの合計数は全体の94.46%を占めていた。これを昭和49年¹⁷、同52年⁴、同55年²の調査結果と比較すると、昭和49年¹⁷が92.50%、同52年⁴が92.11%、同55年²が92.27%と同様の百分率を示した。これまでの調査^{2,4,17}や河原ら(1977)⁵や小森ら(1977)¹¹の報告をみても80歳以上の患者には装着されていなかったことから70歳代が架工義歯を新たに装着する年齢のほぼ上限であると考えられる。

ついで装着頻度を男女別にみると男の装着数360個、45.34%の約1.2倍に相当する434個、54.66%が女に装着されている結果を得た。架工義歯の男女別装着頻度を調査した入野ら(1975)³、小森ら(1977)¹¹の研究でも男より女に対する装着頻度のほうが多いことを報告しており、本調査もこれらの報告と同様の傾向を示した。また先に述べた単独冠の男女別装着頻度をみても、約1.4倍女のほうが多かったが架工義歯における本調査の成績も大同小異の結果であった。しかしこれらの成績は、いずれも大学病院の成績であって、一般社会における成人男子が職域、職種などによって、受診機関、受診時間などに束縛のあることなどを考えると、本調査と他の診療機関での性別装着頻度の成績との間には自然と結果を異にするものがあると思われる。

次に部位別装着頻度について、まず歯群別にと上顎の各歯群が13.98%から17.95%の装着率で、大差がなかったのに対し、下顎では前歯部が2.77%と著しく少なく、小、大白歯部では、とも

に20%以上の高い装着率を示した。入野ら(1975)⁹⁾、小森ら(1977)¹¹⁾などの架工義歯の装着数と部位との関係についての調査でも歯群別に下顎前歯部の頻度が著しく少数で、かつ下顎臼歯部の頻度の多かったことが報告されている。また先に述べた単独冠の成績で、臼歯部における顎別装着頻度は、ほとんど差がなかったことを述べたが、架工義歯支台装置では下顎の小、大臼歯部が、上顎の同部より装着率が高く、下顎の小、大臼歯部が架工義歯支台装置装着部位としては、特有の高頻度を示すことが観察された。これらのことは入野ら(1975)⁹⁾による架工義歯の欠損頻度と欠損部位の調査や菊地(1959)⁸⁾による歯種と喪失率の調査で、いずれも下顎の第1大臼歯が上顎の第1大臼歯よりも約2.5倍の頻度で欠損歯数が多く、また喪失率も高いという成績からも一応は理解できる結果である。

さらに支台歯の生活歯別装着頻度をみると支台歯中の392歯、49.37%が生活歯、402歯、50.63%が失活歯で、ほぼその比率は同じであった。他の調査年^{2,4,17)}についてみると各年とも生活歯の占める割合が多いが、その差は昭和49年¹⁷⁾では13.00%、同52年⁴⁾は32.46%、同55年²⁾は21.96%と、昭和52年⁴⁾以後は失活歯の割合が経年毎に増加傾向にある。先に述べた単独冠の成績では失活歯が生活歯の6.7倍を占めたが、これは単独冠が広範な実質欠損の回復を主たる目的とし、必然的に失活歯が多くなるのに比べ、架工義歯の支台歯は架工歯の維持を主たる目的としており、健全歯も多く含まれ単独冠の場合ほど、失活歯が多くないのは当然であるが、同時に、年々の歯内療法の実施が著しく、これまで抜歯を必要とした歯なども支台歯として利用できるものも増加し、全体として失活歯の比率が高くなりつつあるものと思われる。

ついで支台装着の種類別装着頻度をみると、全部铸造冠が67.25%を占めて最も多く、以下前装冠、一部被覆冠の順であったが、前装冠では既製陶歯前装冠がみられなかったことと、レジン前装冠が4%強であったのに対し、陶材溶着铸造冠の調査年毎の増加がみられたことは特徴的で、臼歯部の全部铸造冠に準じる位置を前歯部において占めていることを示している。

次に築造体の種類別にその築造頻度をみると

キャストコアが93.50%と大多数を占めた。これは単独冠の97.34%とほぼ同様の結果であった。また部位別に築造頻度をみると、どの歯群もキャストコアが最も多く、とくに前歯部では上下顎ともキャストコアのみであった。これは臼歯部と異なり、ほとんどの場合合釘を必要とする前歯部のコアに強度を与えるためキャストコアが多用されたものと思われる。

次に架工歯を部位別に装着頻度をみると、上顎は232個、52.25%、下顎は212個、47.75%で上顎が僅かに4.5%多かったが、歯群別にみると、上顎は各歯群とも15%から18%の間であるが下顎では大臼歯部が34.91%と高率で、反対に前歯部では2.25%と低率を示した。このことは菊地(1959)⁸⁾による歯種と喪失率の調査や入野ら(1975)⁹⁾による架工義歯の欠損部位と頻度の調査で、下顎大臼歯部の喪失率あるいは欠損頻度が他の歯種に対して著しく高いことと、さらに下顎前歯部が著しく低かったという報告からも一応はうなづける成績であった。

結 論

松本歯科大学病院補綴診療科で昭和58年1月から同年12月までの1か年間に製作装着した単独冠および架工義歯について、装着頻度の調査を行い、昭和49年、同52年、同55年の(本学における同じ方法による調査)成績と比較し、以下の結果を得た。

1. 患者総数は753人で昭和49年の約6.5倍であった。また女が60%を占め、調査年毎に微増傾向にあった。患者の年代別頻度は20歳代から50歳代までに、全体の約9割が含まれ、これは他の調査年とほぼ同じであった。

2. 住所別患者数では、塩尻市内在住者の減少傾向が認められた。

3. 単独冠および架工義歯の装着数は、それぞれ1585個、および361装置を数え、調査年毎に増加を認めた。

4. 支台歯の部位別装着数では、単独冠および架工義歯支台数とも下顎前歯部が著しく少なく、また架工歯は下顎大臼歯部が最も多く全体の約35%を占め、いずれも他の調査年と同様の傾向であった。

5. 支台装置の種類別装着数は、単独冠、架工

義歯とも全部鑄造冠が過半数を占めた。また陶材溶着鑄造冠の増加傾向が認められた。

6. 支台歯の生・失活歯別頻度は単独冠では失活歯が87%弱と著しく多く、昭和49年以後、経年的に増加していた。架工義歯支台歯では、ほぼ1:1の割合であった。

7. 支台築造体はキャストコアの占める割合が単独冠および架工義歯支台歯ともに、全体の95%前後を占め、これまでの調査年よりも、さらに多くを数えた。

8. 架工歯数別にみた架工義歯の装着数は架工歯1個の装置が最も多く、全体の約84%を占め、これまでの調査年と同じであった。

9. ユニット数別架工義歯装着数は3ユニットの装置が最も多く、各調査年とも同様の傾向であった。また最も多いユニット数は8ユニットであった。

文 献

- 1) 甘利光治, 阪本義典, 澤村直明, 川上健, 藤高洋一, 中達重幸, 菊地肇, 大野直人, 小森忠幸(1980) 昭和53年における冠・架工義歯補綴に関する統計的観察 その3. 架工義歯について. 歯科医学, 43: 426-433.
- 2) 平野龍紀, 杉本久美子, 戸祭正英, 石原善和, 伊藤晴久, 岩崎精彦, 乙黒明彦, 大野稔, 片岡滋, 大藹隆史, 甘利光治(1985) 昭和55年における冠・架工義歯補綴に関する統計的観察. 松本歯学, 11(3): 222-244.
- 3) 入野誠, 渡辺勇一, 穂積英男, 吉田恵夫(1975) 各種補綴物の統計(2). 補綴誌, 19: 317-324.
- 4) 伊藤晴久, 竹内利之, 戸祭正英, 長田淳, 三沢京子, 岩崎精彦, 石原善和, 乙黒明彦, 片岡滋, 高橋喜博, 甘利光治(1985) 昭和52年における冠・架工義歯補綴に関する統計的観察. 松本歯学, 11(1, 2): 84-102.
- 5) 河原邑安, 谷口勉, 藤本正之, 森勝利, 藤田茂信, 今上茂樹, 山本萬利子, 村山茂樹(1977) 大阪歯科大学臨床歯科学研究所付属診療所における最近5年間における補綴物の統計的観察 その1. 各補綴物の装着頻度について. 歯科医学, 40: 916-922.
- 6) 河原邑安, 谷口勉, 藤本正之, 森勝利, 藤田茂信, 今上茂樹, 山本萬利子, 村山茂樹(1978) 大阪歯科大学臨床歯科学研究所付属診療所における最近5年間における補綴物の統計的観察 その2. とくに歯冠補綴物について. 歯科医学, 41: 447-454.
- 7) 河原邑安, 谷口勉, 藤本正之, 森勝利, 藤田茂信, 今上茂樹, 村山茂樹, 山本萬利子, 金村恵司(1978) 大阪歯科大学臨床歯科学研究所付属診療所における補綴物の統計的観察 その3. とくに架工義歯について. 歯科医学, 41: 455-463.
- 8) 菊地博(1959) 口腔診査成績の機械的統計的处理法について 第2報. 口腔衛生学会雑誌, 9: 104-135.
- 9) 岸弥栄子, 内田忠雄, 笠井彰(1971) 冠橋義歯補綴物の統計的観察. 愛学大歯誌, 9: 116-124.
- 10) 小森富夫, 北上徹也, 甘利光治, 里見雅輝, 吉田温, 藤多文雄, 小沢寛, 沢村直明, 松本博, 杉中功一(1977) 冠・架工義歯補綴に関する統計的観察. その1. 単独補綴歯冠について. 歯科医学, 40: 688-694.
- 11) 小森富夫, 北上徹也, 甘利光治, 阪本義典, 里見雅輝, 吉田温, 藤多文雄, 高橋典章, 松本博, 藤高洋一(1977) 冠・架工義歯補綴に関する統計的観察. その2. 架工義歯支台装置について. 歯科医学, 40: 695-702.
- 12) 小森富夫, 北上徹也, 甘利光治, 里見雅輝, 吉田温, 藤多文雄, 小沢寛, 沢村直明, 末頼一彦, 小森忠幸(1977) 冠・架工義歯補綴物に関する統計的観察. その3. 架工義歯について. 歯科医学, 40: 892-898.
- 13) 小森富夫, 甘利光治, 阪本義典, 久保一慶, 里見雅輝, 藤多文雄, 沢村直明, 小沢寛, 田中昌博, 齊藤高子(1980) 昭和53年における冠・架工義歯補綴に関する統計的観察その1. 単独補綴歯冠. 歯科医学, 43: 268-276.
- 14) 小森富夫, 甘利光治, 福田滋, 里見雅輝, 福住峯行, 吉田温, 藤田文雄, 村井則明, 大塚潔, 阮興(1980) 昭和53年における冠・架工義歯補綴に関する統計的観察その2. 架工義歯支台装置について. 歯科医学, 43: 418-425.
- 15) 厚生省医務局編(1977) 昭和50年歯科疾患実態調査成績. 医歯薬出版, 東京.
- 16) 厚生省医務局編(1985) 昭和56年歯科疾患実態調査成績. 医歯薬出版, 東京.
- 17) 長田淳, 三沢京子, 戸祭正英, 伊藤晴久, 岩崎精彦, 石原善和, 大野稔, 小山敏, 高橋久美子, 押川卓一郎, 甘利光治(1985) 昭和49年における冠・架工義歯補綴に関する統計的観察. 松本歯学, 11: 70-83.
- 18) 笹本正次郎, 三井男也(1970) "昭和44年歯科疾患実態調査"の解説. 歯界展望, 36(6): 1081-1086.
- 19) 竹内光春(1952) 口腔衛生学, 37. 永末書店, 京都.
- 20) Tylman, S. D. and Malone, W. F. P. (1978) Tylman's theory and practice of fixed prosthodontics, 7th ed., 87-95. The C. V. Mosby Co., St. Louis.